

(単位：千円)

決算書 (P366～P369)	10款5項2目 公民館費	所管課等	社会教育課
事業名	市民交流施設高田城址公園オーレンプラザ管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
47,570	47,496				18,378 (使用料等)	29,118
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	74				74	

【目的】

多くの市民が集い、語り、交流する場として、充実した活動を行うことができるよう、施設の適切な管理運営を行う。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

市民交流や子育て支援の拠点施設として、また、市民団体の活動発表の場として、維持管理を行い、年間174,486人が利用した。

○施設の管理実績

・利用者数等

(単位：人)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計画	実績
入館者数	122,464	149,972	165,000	174,486

・施設管理における市の収支状況

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	10,596	12,907	10,963	17,091
	その他	1,046	1,213	1,191	1,287
	合計	11,642	14,120	12,154	18,378
②支出	施設維持管理費	43,312	45,694	47,570	47,496
	うち委託料	26,175	24,941	27,424	27,370
	その他	-	-	-	-
	合計	43,312	45,694	47,570	47,496
③公費投入額(②-①)		31,670	31,574	35,416	29,118
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位：円)		259	211	215	167

決算書 (P 366～P 369)	10 款 5 項 2 目 公民館費	所管課等	社会教育課
事業名	市民交流施設高田城址公園オーレンプラザ管理運営費		

【事業の成果】

自主事業については、オーレンプラザの定期利用者等で構成される企画運営委員が中心となり、参加者等の声や新たな発想・企画を積極的に取り入れて実施することにより、昨年度より多くの市民に活動や交流の機会を提供することができた。

また、施設の維持管理を適切に行い、様々な市民団体の交流及び活動発表の場として活用された。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

コロナ禍を経て、市民の活動が活発化してきていることから、引き続き施設・設備の点検や整備を行い、利用者の安全・安心を確保し、地域交流や市民交流の拠点としての役割を継続的に果たしていく必要がある。

【執行残額について】

その他 74

・消耗品費ほか



アートフェス “オーレ”



オーレンプiano

(単位：千円)

決算書 (P368～P369)	10 款 5 項 3 目 図書館費	所管課等	社会教育課
事業名	読書普及・自主活動事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,942	1,846				4 (諸収入)	1,842
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	96			32	64	

【目的】

市民が本と触れ合う機会を設けるため、各種の取組を行うことにより、広く読書活動の普及を図る。また、上越市子ども読書活動推進計画（第3次）に基づき、子どもの自主的な読書活動を推進する。

視覚に障害がある人や、活字による読書が困難な人を対象とした資料を整備・提供し、広く図書館サービスの利用促進を図る。

幼い頃から本に親しむ機会の充実を図り、子どもの読書活動を推進するとともに、読み聞かせを通して親子の触れ合いの時間を持つことの大切さを伝える。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

読書活動推進事業 175

○令和5年度目標

読書活動推進事業への参加者数：6,000人

○実施内容、これまでの経過等

(1)こどもの読書週間及び読書週間事業の実施

- ・それぞれの期間に合わせて、司書が推奨する絵本や読み物のブックリストを作成し、図書館利用者や市内の小学校に配布するとともに、各館でリスト掲載本の展示を行った。
- ・読書週間（10/27～11/9）に合わせて、利用者から寄せられた夢に関連した本を司書が選び展示する「あなたの夢の本棚」やリサイクルブック市、ブックコート講習会等を実施した。

(2)読書活動推進事業の実施

- ・読み聞かせボランティア団体と協力し、乳幼児から小学生までを対象とした絵本の読み聞かせ会を全館で定期的に実施した。
- ・子どもが読書に親しむきっかけづくりを目的とした「図書館こども祭」を5～6月にかけて全館で実施した。
- ・催し物においては、コロナ禍以前の開催方法に近づけ、ほぼ制限のない状態で実施した。

決算書 (P368～P369)	10款5項3目 図書館費	所管課等	社会教育課
事業名	読書普及・自主活動事業		

(3)学校や公民館図書室等との連携

- ・学校への読書活動支援として、授業などに使う資料の貸出しや、学校へ出向いてのおはなし会や本の紹介を行った。また、コロナ禍での児童への支援として放課後児童クラブへの特別貸出しを引き続き実施した。
- ・市立保育園34園を10グループに分けて、それぞれ時期に見合った行事や季節の絵本や紙芝居を6冊セットにして貸出しする「行事絵本貸出」を実施した。
- ・新年度を迎える中学生・高校生に向けて学校生活の一助となるようなテーマの本を紹介するリストを作成し、図書館利用者や市内の中学校・高等学校に配布するとともに、各館でリスト掲載本の展示を行った。
- ・上越教育大学附属図書館及び新潟県立看護大学図書館との三者連携協力に関する協定に基づき、市立図書館の本を大学図書館で一定期間展示・貸出しする交換展示や相互貸借を実施した。また、各大学の学内者（学生及び教職員）限定で、借りた館以外の図書館に本を返却することができる「どこでも返却預かり」を9月から開始した。
- ・公民館図書室を通じた図書館の本の貸出・返却サービスや、図書館の本を一定期間展示・貸出しする巡回配置などを継続して実施した。

(4)図書館利用者登録の推進

- ・市主催等の各種イベントにおいて「出張図書館」と題し、登録窓口の開設、イベント内容に合わせた資料の展示・貸出し、読み聞かせや工作を行い、図書館資料の有効活用や図書館利用につなげる取組を実施した。
- ・無印良品直江津と連携した取組を実施することで、新たな利用者層の獲得に努めた。
- ・新小学校1年生の入学準備期間に合わせ、図書館利用案内を配布し、登録の促進を図った。

○目標達成状況

読書活動推進事業の参加者数は6,424人となり、目標を達成した。

障害者サービス事業 93

○令和5年度目標

活字による読書が困難な人に向けた、資料の年間貸出タイトル数：500タイトル

○実施内容、これまでの経過等

ボランティア団体との協働により、デージー図書（CD-ROM形式の録音図書）を新たに51タイトル作成し、所蔵資料の充実を図った。

また、「耳で聴く録音図書体験会」を実施し、新たな利用者の獲得につなげた。

○目標達成状況

録音図書等の資料の年間貸出タイトル数は447タイトルで、目標は達成できなかった。

はじめて絵本事業 1,578

○令和5年度目標

対象者にもれなく絵本を贈呈し、あわせて家庭での読み聞かせを促す。

決算書 (P 368～P 369)	10 款 5 項 3 目 図書館費	所管課等	社会教育課
事業名	読書普及・自主活動事業		

○実施内容、これまでの経過等

出生届出後に子ども医療費等の助成や児童手当の手続を行うため窓口を訪れた際に、専用のオリジナルバッグに入れた絵本を新生児 1 人につき 1 冊贈呈した。あわせて、家庭での読み聞かせを推奨する案内や、読み聞かせにおすすめする絵本を紹介した案内等を一緒に配布した。

対象者：令和 5 年 4 月 2 日以降に生まれ、出生届とともに上越市に住民登録をした全ての新生児（令和 5 年度出生数 953 人）

○目標達成状況

準備の都合上、窓口での贈呈は 7 月からとなったが、それまでの間の対象者には郵送し、全ての対象者にもれなく絵本を贈呈することができた。また、絵本と一緒に家庭での読み聞かせを促す案内を配布した。

【事業の成果】

- ・おはなし会や各種催し物等は、ボランティア団体と協力して年間を通じて事業を実施することができ、子どもが絵本に親しむきっかけをつくることができた。
- ・市内の大学図書館との連携協定により、市立図書館では所蔵していない専門的な本をスムーズに取り寄せるなど、市立図書館で利用者のニーズに応えることができた。
- ・はじめて絵本事業をきっかけに図書館を訪れる人もあり、図書館の利用促進につなげることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・今後もより多くの人に各種事業に参加してもらえるよう、各年代に応じた読書普及につながる取組を検討し、本に触れ合う機会を提供していく。
- ・録音図書等の利用が減少していることから、視覚に障害をお持ちの方だけでなく、高齢等により活字による読書が困難な方も利用できることを引き続き周知していく。

【執行残額について】

入札差金	32
・消耗品費	
その他	64
・消耗品費ほか	

(単位：千円)

決算書 (P368～P369)	10款5項3目 図書館費	所管課等	社会教育課
事業名	高田図書館図書充実費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
14,023	13,980				400 (繰入金)	13,580
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	43			28	15	

【目的】

市民の多様な学習活動の場の一つとして、暮らしの情報や課題解決、調査研究などの幅広い市民ニーズに応えられるよう、様々な分野の資料を収集し充実を図る。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和5年度目標

高田図書館、浦川原分館及び頸城分館の図書貸出者数：119,000人

○実施内容、これまでの経過等

・令和5年度受入冊数 7,144冊(購入：5,915冊、寄贈：1,229冊)

<令和5年度購入実績>

区分	全体 ①+②	高田図書館①				分館②
		一般書		児童書		
		一般用	ティーンズ コーナー			
冊数(冊) (割合%)	5,915	5,375	3,785 (70.4)	169 (3.2)	1,421 (26.4)	540
金額	11,135	10,279	7,663	299	2,317	856

<蔵書冊数(雑誌を除く)>

(単位：冊)

施設名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比較
高田図書館	271,218	272,108	271,012	△1,096
分館	37,220	36,824	35,793	△1,031
合計	308,438	308,932	306,805	△2,127

決算書 (P368～P369)	10款5項3目 図書館費	所管課等	社会教育課
事業名	高田図書館図書充実費		

<貸出利用者数(団体を含む)> (単位:人)

施設名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比較
高田図書館	108,984	107,015	107,381	366
分館	10,783	10,794	11,076	282
合計	119,767	117,809	118,457	648

※団体も1人として集計

<貸出資料点冊数(団体を含む)> (単位:点)

施設名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比較
高田図書館	435,803 (41)	415,566 (403)	395,673 (372)	△19,893 (△31)
分館	33,811 (16)	35,411 (84)	35,000 (99)	△411 (15)
合計	469,614 (57)	450,977 (487)	430,673 (471)	△20,304 (△16)

※()内はうちCDの貸出点数(令和4年2月から貸出し開始)

○目標達成状況

貸出利用者数は118,457人で、目標は達成できなかった。

【事業の成果】

- ・多様な分野の図書資料を各館で連携しながら収集し、一方で古い図書資料を除籍することで、蔵書の更新を進めた。また、県内外の図書館から必要な図書資料の借用を積極的に行い、利用者へ提供した。
- ・図書資料の展示方法の工夫や市のSNSを利用した情報発信を積極的に行ったことで、令和4年度に比べ貸出利用者数が増加した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・目標は達成できなかったが、人口に対する貸出利用者の割合は107.6%と、コロナ禍前の平成30年度の110.1%に近づいてきている。
- ・一方で貸出資料点数は減少傾向にあることから、今後も図書資料の充実を図るとともに、図書の紹介方法を工夫しながら蔵書の活用を図り、情報発信を積極的に行うことで、引き続き利用の増加に努めていく。

【執行残額について】

- 入札差金 28
- ・新聞デジタル化作業委託料
- その他 15
- ・高額図書購入費ほか

(単位：千円)

決算書 (P368～P369)	10款5項3目 図書館費	所管課等	社会教育課
事業名	図書管理電算化事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
21,134	21,131					21,131
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	3				3	

【目的】

図書館サービスの正確化、迅速化を図るため、図書館システム及び端末を適切に維持管理する。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和5年度目標

図書館資料のインターネット予約処理件数：73,300件

○実施内容、これまでの経過等

- ・図書館システムについて、図書館資料の貸出しや予約、リクエスト対応などのサービスに支障を来さないよう適切な維持管理に努めた。

<インターネット予約処理件数> (単位：件)

令和3年度	令和4年度	令和5年度
63,461	69,264	73,248

○目標達成状況

図書館資料のインターネット予約処理件数は73,248件で、目標には僅かに届かなかった。

【事業の成果】

目標は達成できなかったものの、より使いやすいよう適宜修正を加えながら図書館システムの利便性向上を図ることで、インターネット予約処理件数を伸ばすことができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・引き続き図書館システムの適切な維持管理に努める。
- ・図書館システムの改善に関する要望に対応できるものは適宜行い、利便性の向上を図る。
- ・図書館ホームページのほか、図書館だより「パピルス」や市ホームページ、市SNS、報道機関への情報提供など、今後もPRしたい情報の対象や内容に応じた発信方法を考えながら、図書館利用を広く市民に案内していく。

【執行残額について】

その他 3

- ・消耗品費ほか

(単位：千円)

決算書 (P368～P371)	10款5項3目 図書館費	所管課等	社会教育課
事業名	高田図書館管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
83,708	79,225				1,285 (使用料等)	77,940
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	4,483				4,483	

【目的】

市民の多様な学習活動の拠点施設として、高田図書館及び分館を適切に維持管理し、安全安心な読書環境を提供する。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

・主な維持管理費(施設関係)

屋上・塔屋改修工事(高田図書館)	1,276
冷温水ポンプ2号機更新工事(高田図書館)	858
防火設備修繕工事(高田図書館)	532
南側トップライト漏水修繕工事(高田図書館)	405
窓排煙オペレーター修繕工事(高田図書館)	244

・図書館資料の配送

直江津図書館、浦川原分館、頸城分館及び公民館図書室、市内大学図書館を定期的に巡回し、高田図書館を起点に直江津図書館へは週6回、分館へは週3回、公民館図書室へは週1～2回、市内大学図書館へは週2回、図書館資料の配送を行った。

・会議室の自習室としての開放

会議室について、利用予約のない日時を自習室として開放し、高校生等の居場所づくりに寄与した。

○施設の管理実績

<利用者数等>

(単位：人)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計画	実績
入館者数(高田図書館のみ)	173,291	175,262		176,118
図書貸出利用者数(分館を含む)	119,767	117,809	119,000	118,457

※入館者数には小川未明文学館利用者と、観桜会会期中の利用者を含む。

決算書 (P368～P371)	10款5項3目 図書館費	所管課等	社会教育課
事業名	高田図書館管理運営費		

<施設管理における市の収支状況>

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	47	37	37	43
	その他	621	637	616	1,242
	合計	668	674	653	1,285
②支出	施設維持管理費	28,937	34,393	36,403	35,296
	うち委託料	13,851	14,965	15,044	15,043
	その他	41,358	49,947	47,305	43,929
	合計	70,295	84,340	83,708	79,225
③公費投入額 (②-①)		69,627	83,666	83,055	77,940
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		581	710	698	658

※④利用者は、図書貸出利用者数(分館を含む)。

【事業の成果】

高田図書館の快適な利用環境を整えるため、冷温水ポンプ2号機の更新のほか、屋上・塔屋の改修や防火設備の修繕、南側トップライト漏水修繕等を行い、施設の長寿命化及び設備の安定的な稼働を図った。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

高田図書館は平成6年に開館して30年が経過し、昇降機、消防設備等の諸設備及び建築物の老朽化が進んでいることから、利用者の安全確保と快適な読書環境の提供及び施設の長寿命化を図るため、引き続き優先順位を定めて修繕を実施していく。

【執行残額について】

その他	4,483
・現業会計年度任用職員報酬	1,872
・現業会計年度任用職員期末手当	288
・現業会計年度任用職員費用弁償	169
・会計年度任用職員共済組合負担金	856
・光熱水費	871
・修繕料ほか	427

(単位：千円)

決算書 (P370～P371)	10 款 5 項 3 目 図書館費	所管課等	社会教育課
事業名	直江津図書館図書充実費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
5,834	5,824				378 (繰入金)	5,446
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	10				10	

【目的】

市民の多様な学習活動の場の一つとして、暮らしの情報や課題解決、調査研究などの幅広い市民ニーズに応えられるよう、様々な分野の資料を収集し充実を図る。

令和 5 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和5年度目標

- ・鉄道資料や郷土資料の充実を図るとともに、市民ニーズを踏まえた地域の情報基盤としての図書館サービスを提供する。
- ・直江津図書館の図書・視聴覚資料貸出者数：80,200人

○実施内容、これまでの経過等

- ・受入冊数 2,976冊(購入：2,656冊、寄贈：320冊)
- ・購入実績

区分	直江津図書館				
		一般書			児童書
		一般用	鉄道図書 コーナー	ティーンズ コーナー	
冊数(冊) (割合%)	2,656	1,570 (59.1)	103 (3.9)	211 (7.9)	772 (29.1)
金額	4,419	2,663	221	288	1,247

・蔵書冊数(雑誌を除く)

(単位：冊)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比較
	冊数	153,553	153,039	

決算書 (P370～P371)	10款5項3目 図書館費	所管課等	社会教育課
事業名	直江津図書館図書充実費		

・貸出利用者数（団体を含む）（単位：人）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比較
資料種別	図書・雑誌	76,611	75,211	76,779	1,568
	視聴覚資料	3,696	3,128	2,884	△244
合計		80,307	78,339	79,663	1,324

※団体も1人として集計

・貸出点数（団体を含む）（単位：点）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比較
資料種別	図書・雑誌	294,239	278,650	279,346	696
	視聴覚資料	6,322	5,349	5,170	△179
合計		300,561	283,999	284,516	517

○目標達成状況

- ・鉄道資料や郷土資料の充実を図りながら、地域の情報基盤として、図書館サービスを提供した。
- ・貸出利用者数は79,663人であり、前年度実績は上回ったものの、目標は達成できなかった。

【事業の成果】

収集した図書等を活用し、様々な催しや本の展示などを行ったほか、市内の大学図書館や企業などと連携し、関連する本の貸出しを行うなど、幅広い本との出会いを提供した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

コロナ禍以降の図書館利用の落ち込みからの回復を確実なものとするため、今後も関係機関や地域との連携による催しや、本の展示などを工夫して行うとともに、資料の充実を図ることによって利用の増加に努めていく。

【執行残額について】

その他 10

- ・図書装備委託料ほか

(単位：千円)

決算書 (P370～P371)	10 款 5 項 3 目 図書館費	所管課等	社会教育課
事業名	直江津学びの交流館管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
92,520	91,528				4,074 (使用料等)	87,454
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	992			23	969	

【目的】

市民の生涯学習活動や文化活動の支援を行うとともに、情報提供の場としての直江津学びの交流館・直江津図書館の適切な管理、運営を図る。

令和 5 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和 5 年度目標

- ・集会や各種講座、音楽、体操、読書等、利用者がより快適に活動できる場の提供に努める。
- ・入館者数：202,000 人以上

○実施内容、これまでの経過等

- ・利用実績

部屋別	令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
	利用件数 (件)	稼働率※ (%)	利用件数 (件)	稼働率※ (%)	利用件数 (件)	稼働率※ (%)
イベントホール	521	50.0	616	59.2	629	60.2
音楽室	508	48.8	520	50.0	492	47.1
小集会室	513	49.3	625	60.0	623	59.7
多目的ホールA	357	34.3	477	45.8	404	38.7
多目的ホールB	211	20.3	253	24.3	307	29.4
多目的ホールC	382	36.7	344	33.0	505	48.4
合計	2,492	39.9	2,835	45.4	2,960	47.3
貸館利用者数(人)	24,887		26,227		28,262	

※稼働率：1日のうち、午前・午後・夜間、全て利用された場合を100%とし、1回の利用を33.3%とする。

決算書 (P370～P371)	10款5項3目 図書館費	所管課等	社会教育課
事業名	直江津学びの交流館管理運営費		

○施設の利用実績

・利用者数

(単位：人)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計画	実績
入館者数	199,635	195,659	202,000	202,188

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	2,781	2,859	3,200	3,363
	その他	609	671	616	711
	合計	3,390	3,530	3,816	4,074
②支出	施設維持管理費	26,041	28,887	34,338	34,190
	うち委託料	11,493	11,932	12,648	12,648
	その他	36,034	37,887	58,182	57,338
	合計	62,075	66,774	92,520	91,528
※ 令和3年度共益費負担金		21,760	-	-	-
上記費用を含む支出合計		83,835	66,774	92,520	91,528
③公費投入額 (②-①)		58,685	63,244	88,704	87,454
④入館者1人当たりの公費投入額 (単位：円)		294	323	439	433

※ ホテルと共用する空調設備の故障に伴う全面更新工事費分(令和3年度のみ)

○目標達成状況

入館者数は202,188人となり、目標を達成した。

【事業の成果】

コロナ禍が収束に向かう中、入館者数や使用料収入は回復傾向にあり、様々な市民活動や学びの場として活用されたほか、市外や県外からの会議、催しなどの会場としても幅広く利用された。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

引き続き、施設の適切な管理運営を図り、直江津駅前という立地環境をいかしながら、図書館はもとより、各種集会や研修会などの会場として、市内外から利用してもらえるよう取り組んでいく。

【執行残額について】

入札差金	23
・複写機借上料ほか	
その他	969
・共済費	430
・報酬	297
・光熱水費ほか	242

(単位：千円)

決算書 (P370～P373)	10款5項4目 博物館費	所管課等	文化行政課
事業名	博物館管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
43,952	39,827				4,569 (使用料等)	35,258
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	4,125			293	3,832	

【目的】

当市の歴史・民俗等について調査研究し、その成果を展覧会や図録等の刊行物で市民に紹介するとともに、安全で快適な施設の維持管理を行う。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

企画展開催事業 3,815

○令和5年度目標

- ・高田城跡という立地をいかし、地域の文化財等を活用して常設展示及び企画展等の事業を実施することで、地域の歴史学習の拠点として多くの市民や観光客が持続的に集う魅力ある施設とする。
- ・企画展Ⅰ「頸城油田の盛衰－日本一の手掘り技術－」、企画展Ⅱ「探検！むかしのくらし」を開催することにより、地域資料及び収蔵資料の活用を進め、市民が郷土の歴史に触れ、貴重な文化財を鑑賞する機会とする。
- ・日本スキー発祥記念館収蔵資料の整理を継続して実施する。
- ・入館者数：68,000人

(実績 令和2年度：45,558人、令和3年度：61,175人、令和4年度：66,911人)

○実施内容、これまでの経過等

(1)展覧会の開催

展覧会名	会期	内容	入館者数 (うち展覧会 観覧者数)
逸品展示「どうする康政 榊原資料展」	3/25～ 6/18	NHK大河ドラマ「どうする家康」の放送にちなみ、徳川家康の側近で徳川四天王に数えられた榊原康政を紹介した。	26,494人 (4,455人) ※入館者数は 4/1～6/18

決算書 (P370～P373)	10 款 5 項 4 目 博物館費	所管課等	文化行政課
事業名	博物館管理運営費		

展覧会名	会 期	内 容	入館者数 (うち展覧会 観覧者数)
企画展Ⅰ「頸城油田の盛衰－日本一の手掘り技術－」	7/15～ 10/29	日本初のパイプラインが敷設された玄藤寺油田（板倉区・清里区）を始め、牧油田、名立飛山油田、郷津油田など明治時代に日本を代表する油田であった「頸城油田」を紹介し、上越市全体の石油産業史をまとめた。	19,309 人 (5,000 人)
企画展Ⅱ「探検！むかしの暮らし」	11/25～ 令和 6 年 3/10	大正から昭和時代の暮らしの様子を豊富な民俗資料と上越市内の写真で紹介した。	9,062 人 (3,198 人)
特集展示「高田盲学校資料展」	令和 6 年 3/29～ 6/16	日本で三番目の盲学校として設立され、視覚障がい者教育の先駆けとなった高田盲学校の歴史と教材資料を紹介した。	687 人 (90 人) ※入館者数は 3/29～3/31
展覧会期間中の入館者数合計…(a)			55,552 人 (12,743 人)
常設展示のみの期間の入館者数…(b)			9,211 人 (1,710 人)
令和 5 年度の総入館者数 (4/1～3/31) …(a) + (b)			64,763 人 (14,453 人)

(2)教育・普及事業

事業名	内 容	開催日	参加者数
展示解説会	企画展Ⅰ「頸城油田の盛衰－日本一の手掘り技術－」	7/29、 8/6、 8/20	延べ 56 人
	企画展Ⅱ「探検！むかしの暮らし」 ※小学校 3 年生の授業に対応	11/25～ 3/10	48 校 (43 校) 1,560 人 (1,384 人) ※ () は市内
	常設展示・企画展等に関する団体解説	随時	12 件 307 人
	岡沢拠点収蔵施設一般公開	5/6、 8/10、 8/11	延べ 35 人
出前講座・職員派遣	歴史・民俗に関する講演・講座等 ※公民館事業や町内会などの依頼に対応	随時	14 件 481 人

決算書 (P370～P373)	10款5項4目 博物館費	所管課等	文化行政課
事業名	博物館管理運営費		

事業名	内容
刊行物の 発行	名称：企画展パンフレット『頸城油田の盛衰－日本一の手掘り技術－』 規格：A4判 24ページ 部数：1,000部
	名称：小学生用ワークシート『企画展 探検！むかしのくらし 探検ブック』 規格：A4判 8ページ 部数：2,500部
	名称：『上越市立歴史博物館 年報・紀要 第4号』 ※歴史博物館ホームページ上でデジタル版を公開 規格：A4判 85ページ

・「続日本100名城」スタンプラリーを実施した。

(3)調査・研究事業及び資料管理事業

- ・日本スキー発祥記念館で収蔵するスキー資料の整理・台帳化の作業を継続して進めた。
- ・令和5年度から楊洲周延浮世絵作品の整理作業を開始した。
- ・展覧会開催に係る調査研究のほか、歴史・民俗資料等の収集管理、歴史資料・参考図書の購入を行った。

○目標達成状況

入館者数は64,763人となり、目標を達成することができなかった。

民俗資料整理事業 646

○実施内容、これまでの経過等

平成30年度以降の新規寄贈資料の台帳化作業を継続して行うとともに、資料の適正管理に努めた。

施設の維持管理 35,366

○実施内容、これまでの経過等

歴史博物館、岡沢拠点収蔵施設の維持管理を適切に実施した。

○施設の管理実績

- ・利用者数等

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計画	実績
入館者数	61,175人	66,911人	68,000人	64,763人

決算書 (P370～P373)	10款5項4目 博物館費	所管課等	文化行政課
事業名	博物館管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				予算現額	実績
① 収入	使用料収入	4,977	4,230	4,400	4,373
	その他	693	214	178	196
	合計	5,670	4,444	4,578	4,569
② 支出	施設維持管理費	27,162	33,237	38,729	35,366
	うち委託料	13,714	12,782	15,583	13,887
	その他	8,879	4,063	5,223	4,461
	合計	36,041	37,300	43,952	39,827
③ 公費投入額 (②-①)		30,371	32,856	39,374	35,258
④ 利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		496	491	579	544

【事業の成果】

- ・企画展Ⅰ「頸城油田の盛衰ー日本一の手掘り技術ー」では、日本初のパイプラインが敷設された玄藤寺油田を始め、頸城一円に広がった「頸城油田」について、市内に残る文書資料と民俗資料を活用し、上越地域の近代石油産業史を紹介した。
- ・市民が地域の文化財等を鑑賞し、郷土の歴史・文化への理解を深める機会を提供した。
- ・博物館の活動や調査研究の成果を、展覧会図録や博物館紀要・年報として刊行した。
- ・国重要有形民俗文化財「どぶね」のほか約3万点の民俗資料を収蔵する岡沢拠点収蔵施設の一般公開を行い、鑑賞する機会を市民に提供した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・7月15日から開催した企画展Ⅰの入館者数が良好だったものの、当初の見込みに比べて入館者数の回復が緩やかであったことから、目標入館者数に達しなかった。
- ・今後も収蔵資料や市内の歴史に関する研究を深め、新たな知見の蓄積に努めていくとともに、その成果を市民に還元するため、展覧会や講座を開催していく。

【執行残額について】

入札差金 293

- ・施設管理委託料ほか

その他 3,832

- ・光熱水費 846
- ・施設管理委託料 1,492
- ・現業会計年度任用職員報酬ほか 1,494

(単位：千円)

決算書 (P372～P373)	10款5項4目 博物館費	所管課等	文化行政課
事業名	小林古径記念美術館管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
73,250	70,477				5,316 (使用料等)	65,161
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2,773			1,082	1,691	

【目的】

小林古径及び当市ゆかりの美術作家の作品を収集、保管、展示し、あわせてこれらの作品等に関する調査研究を行う。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

企画展開催事業 30,181

○令和5年度目標

入館者数 20,000人

(実績 令和2年度：10,790人、令和3年度：16,583人、令和4年度：13,791人)

○実施内容、これまでの経過等

・ 展覧会開催事業

展覧会名	会期	内容	入館者数
あつめてのこす、 ひろくつたえる ～新収蔵品から～	3/25～ 7/2	令和2年度のオープンから令和4年度まで収集した新収蔵品の展示を通じてコレクションの成り立ちや美術館における収集・公開活動を紹介した。	4,568人 ※入館者数は4/1～7/2
生誕110年 齋藤三郎展	7/15～ 10/9	当市ゆかりの陶芸家・齋藤三郎の生誕110年を記念し、陶磁器のほか、書画や商業デザインなど多岐に渡る活躍もあわせて紹介した。	4,096人
生誕140年 小林古径の世界	10/21～ 11/19	小林古径の生誕140年を記念し、初期から晩年までの代表作を展示した。小林古径邸(国登録有形文化財)や画室を紹介し、作品のみならず、古径の人となりも感じてもらう機会とした。	3,753人
生誕140年記念 古径さんの素描	12/2～ 令和6年 3/10	当館所蔵の約1,300点にのぼる古径の素描作品の中から古典絵画や寺社宝物の模写、身近な動植物の写生などバラエティに富んだ作品を展示した。	2,246人

決算書 (P372～P373)	10款 5項 4目 博物館費	所管課等	文化行政課
事業名	小林古径記念美術館管理運営費		

展覧会名	会期	内容	入館者数
祈りの心象 柴田長俊展	令和6年 3/23～ 6/23	当市出身の日本画家・柴田長俊の「祈りの心象風景」を当館所蔵の日本画及びステンドグラス作品で紹介した。	380人 ※入館者数は3/23～ 3/31

・展覧会関連事業

展覧会名	事業名	参加者数
新収蔵品展	小林古径生誕140年記念 さくら茶席 (全4回)	76人
	鑑賞&トーク (全3回)	10人
	古径邸・庭園見どころガイドツアー	16人
	のこしてつたえる「彫刻ぴかぴか大作戦」	11人
	スペシャル☆よちよちタイム	13人
	ワークショップ くらべてみよう 日本画と油彩画	15人
齋藤三郎展	リレートーク 齋藤三郎、人と芸術 (全2回)	142人
	タッチ&トーク (全3回)	14人
	美術館で夏やすみ!	249人
	雪国の窯上映会 (全18日間、36回)	359人
小林古径の世界	ワークショップ オリジナル絵巻をつくろう!(小学生)	9人
	スライドトーク 小林古径 生涯と作品	30人
	サロンコンサート ハープとフルートの響き	32人
	親子向けコンサート ハープで奏でるジブリ&ディズニー	120人
古径さんの素描	ギャラリートーク (全3回)	23人
	古径さんの作品で「上げ写し」技法を体験してみよう!	6人
	古径さんの作品の「線」を引いてみよう!	110人
	キャンドルナイト2024	830人
通年	よちよちタイム (全40回)	110人
	こどものための美術館ガイド「きっず★アートチャレンジ」	134人

決算書 (P372～P373)	10款5項4目 博物館費	所管課等	文化行政課
事業名	小林古径記念美術館管理運営費		

・出張授業及び団体見学対応

区分	件数	人数
出張授業	上越教育大学附属小学校6年生、高田南城高等学校3年生、大和小学校1～6年生、高田図書館、糸魚川中学校2年生(2件)、大手町小学校3年生 合計7件	414人
団体見学対応	団体旅行、市内公民館、市内外の小中高等学校など 合計53件	1,800人

・刊行物の発行

種類	冊子名
図録	名称：『生誕110年 齋藤三郎展』 規格：A5版、88ページ 部数：1,000部
	名称：『生誕140年 小林古径の世界』 規格：A5版、184ページ 部数：1,200部
	名称：『小林古径記念美術館所蔵 柴田長俊作品集』 規格：A5版、80ページ 部数：1,000部

○目標達成状況

入館者数は15,043人となり、目標を達成できなかった。

施設の維持管理 39,417

○実施内容

- ・小林古径記念美術館、小林古径邸・画室及び庭園の維持管理を適正に実施した。
- ・所蔵作品を適正に保管管理した。
- ・作品の収集

収集の種類	内容	点数
寄贈	日本画5点、油彩画10点、工芸18点、現代美術2点	35点
寄託	日本画46点、油彩画5点、彫刻2点、工芸2点、書15点、素描6点	76点
所管替え	彫刻1点(大島区総合事務所から)	1点
合計		112点

決算書 (P372～P373)	10 款 5 項 4 目 博物館費	所管課等	文化行政課
事業名	小林古径記念美術館管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数等

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計画	実績
入館者数	16,583 人	13,791 人	20,000 人	15,043 人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料	5,882	4,152	8,444	4,574
	その他	1,353	635	2,549	742
	合計	7,235	4,787	10,993	5,316
②支出	施設維持管理費	30,993	33,934	41,501	40,296
	うち委託料	21,674	22,529	23,046	22,777
	その他	23,708	8,802	31,749	30,181
	合計	54,701	42,736	73,250	70,477
③公費投入額 (②-①)		47,466	37,949	62,257	65,161
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		2,862	2,752	3,113	4,332

地域独自の予算事業 879

- ・第40回上越美術協会展及び会場における“音楽会”と“まちなか美術館”事業(高田区)(90)
- ・戸張幸男作品展並びに作品集事業(高田区)(603)
- ・文化と文化施設を使った交流促進事業(高田区)(186)

【事業の成果】

- ・生誕140年の節目を迎えた小林古径の代表作を一堂に展示し、古径の芸術性や美術館の存在について、各地の美術館へのチラシ送付のほか、ホームページやSNSなどのツールを使い、全国に向けて発信することができた。また、年間4回の展覧会の開催を通じて当市ゆかりの美術作品を紹介することができた。
- ・日本画の技法体験など、体験的な展覧会関連事業の実施により、展示作品への理解を深めてもらうとともに、来館者が気軽に美術に親しむ機会を提供することができた。

決算書 (P372～P373)	10款 5項 4目 博物館費	所管課等	文化行政課
事業名	小林古径記念美術館管理運営費		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・入館者数の目標を達成できなかった主な要因は、当初の見込みに比べて入館者数の回復が緩やかであったほか、美術におけるジャンルの多様化や企画展に求めるニーズが様々であることなどが考えられる。
- ・古径を始めとする当市ゆかりの作家を中心とした美術作品を引き続き紹介していく中で、来館者のニーズや満足度を高められるような企画展やイベントの開催に努める。
- ・来館者の満足度を高め、安全に使用していただけるよう適切に施設を管理運営する。

【執行残額について】

- 入札差金 1,082
- ・施設管理委託料ほか
- その他 1,691
- ・報償金ほか



生誕 110 年 齋藤三郎展



生誕 140 年 小林古径の世界

(単位：千円)

決算書 (P372～P375)	10款5項4目 博物館費	所管課等	文化行政課
事業名	歴史民俗資料館管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,890	3,804				1,267 (使用料等)	2,537
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	86			50	36	

【目的】

牧歴史民俗資料館が収蔵する国史跡「宮口古墳群」の出土品（新潟県指定有形文化財）を始め、水科古墳群及び菅原古墳からの出土品並びに油田関係資料を含む民俗資料を適正に保管し、展示する。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和5年度目標

- ・出土品のほか、貴重な民俗資料を展示している施設の特徴をいかし、小学校等の校外学習、公民館講座等での利用を促進し、入館者数の維持を図る。
- ・入館者数：500人
(実績 令和2年度：329人、令和3年度：373人、令和4年度：490人)

○実施内容、これまでの経過等

- ・市内の小中学校や公民館講座等における利用促進に向け、PR活動を行った。
- ・冬期間の雪害により破損した資料館の屋根の修繕を行った。

○施設の管理実績

- ・利用者数等

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計画	実績
入館者数	373人	490人	500人	230人

決算書 (P372～P375)	10款5項4目 博物館費	所管課等	文化行政課
事業名	歴史民俗資料館管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	29	41	40	27
	その他	-	1	737	1,240
	合計	29	42	777	1,267
②支出	施設維持管理費	1,953	2,656	2,614	2,528
	うち委託料	317	306	537	526
	その他	-	-	1,276	1,276
	合計	1,953	2,656	3,890	3,804
③公費投入額 (②-①)		1,924	2,614	3,113	2,537
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		5,158	5,335	6,226	11,030

○目標達成状況

入館者数は230人となり、目標を達成することができなかった。

【事業の成果】

市内小学校の総合的な学習の時間や公民館講座などにおいて、幅広い年代層に対し地域の歴史文化について学習する場を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・市内小学校等の校外学習の実施内容が多岐にわたるようになり、資料館の利用が減少したため、入館者数が減少した。今後も市内の小中学校や公民館へのPRを継続して行い、入館者数の増を図る。
- ・施設設置から40年以上が経過しており、設備改修など計画的な修繕の実施が必要である。

【執行残額について】

入札差金 50

- ・修繕料

その他 36

- ・会計年度任用職員報酬ほか

(単位：千円)

決算書 (P374～P375)	10 款 5 項 4 目 博物館費	所管課等	文化行政課
事業名	スキー発祥記念館管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
8,790	8,170				350 (使用料)	7,820
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	620				620	

【目的】

日本におけるスキー発祥地として、スキー産業・スキー文化の変遷に関する資料等を保存・展示することにより、郷土に対する市民の認識を深め、教育、学術の発展に寄与する。

令和 5 年 度 の 取 組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和5年度目標

- ・歴史博物館と連携して施設のPRに努めるとともに、小中学校の施設利用学習に供する。
- ・入館者数：2,900人
(実績 令和2年度：1,404人、令和3年度：1,755人、令和4年度：2,544人)

○実施内容、これまでの経過等

- ・日本スキー発祥110周年に当たる令和3年度から、收藏するスキー資料の整理事業に着手し、令和6年度まで実施する予定
- ・令和5年度は、令和4年度に整理した資料等を追加して展示内容を一部更新したほか、歴史博物館ラウンジでのスキー板展示を実施し、資料整理事業の成果を発信した。
- ・大型連休・夏休み・金谷山スキー場営業期間中に、金谷山スーパーボブスレー・リフト利用者に対して観覧料の割引を行った。
(割引利用者 令和3年度：6人、令和4年度：16人、令和5年度：64人)

○施設の管理実績

- ・利用者数等

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計 画	実 績
入館者数	1,755人	2,544人	2,900人	2,408人

決算書 (P374～P375)	10款5項4目 博物館費	所管課等	文化行政課
事業名	スキー発祥記念館管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	552	368	401	350
	その他	-	-	-	-
	合計	552	368	401	350
②支出	施設維持管理費	4,872	5,453	8,710	8,091
	うち委託料	2,862	3,109	3,192	3,153
	その他	52	80	80	79
	合計	4,924	5,533	8,790	8,170
③公費投入額(②-①)		4,372	5,165	8,389	7,820
④利用者1人当たりの 公費投入額(単位:円)		2,491	2,030	2,893	3,248

○目標達成状況

入館者数は2,408人となり、目標を達成することはできなかった。

【事業の成果】

日本スキー発祥の地にある施設として、日本スキーの歴史と上越地域の関わりについて学ぶことができる場を提供し、郷土の歴史・文化に対する理解を深めるとともに、郷土への愛着の醸成に寄与した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・有料入館者数については941人(令和4年度829人)と増加しており、金谷山スーパーボブスレー・リフト利用者への観覧料割引利用者実績も回復しているが、スキーの日やレルヒ祭の無料開放日などの無料入館者が1,467人(令和4年度1,715人)と減少したことなどから目標入館者数に達しなかった。
- ・小中学校の施設利用は5校(令和4年度3校)であった。
- ・收藏するスキー資料の整理事業を今後も計画的に進め、その成果を日本スキー発祥記念館の展示内容や歴史博物館の企画展に反映させていく。

【執行残額について】

- その他 620
- ・光熱水費 569
 - ・消耗品費ほか 51

(単位：千円)

決算書 (P374～P375)	10 款 5 項 4 目 博物館費	所管課等	文化行政課
事業名	高田城三重櫓管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
10,397	9,359				6,313 (使用料等)	3,046
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,038				1,038	

【目的】

高田城址公園を象徴する施設として、適切な維持管理を行うとともに、歴史博物館と連携して高田城の歴史や価値を広く周知し、教育、学術の発展に寄与する。

令和 5 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和 5 年度目標

- ・高田城址公園の象徴として多くの市民や観光客が持続的に集う魅力ある施設とする。
- ・入館者数：29,000 人
(実績 令和 2 年度：12,472 人、令和 3 年度：16,865 人、令和 4 年度：24,802 人)

○実施内容、これまでの経過等

- ・観桜会や観蓮会等のイベント期間にあわせてライトアップを実施した。
- ・施設の維持管理として、消防用設備修繕、管理棟通路床修繕などを実施した。
- ・歴史博物館で開催した逸品展示「どうする康政 榊原資料展」の成果をいかして、観蓮会にあわせたパネル展を開催した。

○施設の管理実績

- ・利用者数等

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
			計画	実績
入館者数	16,865 人	24,802 人	29,000 人	26,199 人

決算書 (P374～P375)	10 款 5 項 4 目 博物館費	所管課等	文化行政課
事業名	高田城三重櫓管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
				予算現額	実 績
①収入	使用料収入	4,112	6,033	7,048	6,271
	その他	37	43	51	42
	合計	4,149	6,076	7,099	6,313
②支出	施設維持管理費	9,017	9,502	10,397	9,359
	うち委託料	6,349	6,626	6,695	6,431
	その他	-	-	-	-
	合計	9,017	9,502	10,397	9,359
③公費投入額 (②-①)		4,868	3,426	3,298	3,046
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位：円)		289	138	114	116

○目標達成状況

入館者数は 26,199 人となり、目標を達成することはできなかった。

【事業の成果】

- ・地域の歩みを解説する歴史博物館と高田城址公園を象徴する高田城三重櫓、それぞれ異なる視点から高田城を学ぶことができるよう展示内容を特化し、市民や観光客による両施設の利用促進を図ることにより、高田城の歴史や価値を周知できた。
- ・歴史博物館における展覧会及び調査研究の成果を高田城三重櫓の展示内容へと反映させたパネル展を開催した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・当初の見込みに比べて入館者数の回復が緩やかであったことから、目標入館者数に達しなかった。
- ・今後も歴史博物館と連携して、高田城とその城下町の歴史や魅力を広く周知していく。
(観桜会期間入館者 令和 3 年度：3,274 人、令和 4 年度：6,944 人、令和 5 年度 7,759 人)

【執行残額について】

その他 1,038

- ・光熱水費 746
- ・消耗品費ほか 292

(単位：千円)

決算書 (P374～P375)	10款5項5目 水族博物館費	所管課等	教育総務課
事業名	水族博物館管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
138,892	89,350				61,948 (繰入金等)	27,402
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	49,542			2,158	47,384	

【目的】

市民の教育、学術及び文化の向上を図るための学びの場として、さらには、内外から大勢が集う楽しみ場、憩いの場として、水生生物の飼育展示や教育プログラムを実施するとともに、入館者の安全確保を図るため、施設の適切な維持管理を行う。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和5年度目標

施設の機能や安全性の確保、展示の充実など、施設の現状、入館者の動向やニーズを踏まえた取組を実施するとともに、生物の健全な飼育展示に資する取組を進める。

○実施内容、これまでの経過等

(1)施設の機能や安全性の確保

施設の機能や安全性を適切な状態で維持するため、不具合が発生した設備の修繕や不具合発生を防止するための予防保全を実施した。

(2)展示の充実

水族博物館としての魅力をより一層高めるため、水生生物に関する多様な情報の発信を念頭においた展示替えや展示解説の変更などを実施した。

(3)特別展等の開催

入館者の学習機会の増加を図るため、特別展及び企画展を開催した。

(4)教育普及事業の実施

入館者の興味や学習ニーズに応えるため、バックヤードツアーや館内ガイドツアーなどの教育プログラムを実施した。また、学校教育に資するために、小中学校と連携した環境学習プログラムや出張授業などを実施した。

(5)生物の健全な飼育展示

上越市立水族博物館鯨類飼育環境検証委員会（以下、「検証委員会」という。）の検証結果を踏まえた取組や高病原性鳥インフルエンザ対策など、生物を健全に飼育展示するための取組を引き続き実施した。

決算書 (P374～P375)	10款5項5目 水族博物館費	所管課等	教育総務課
事業名	水族博物館管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計 画	実 績
入館者数	245,080人	335,963人	367,000人	359,933人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				予算現額	実 績
①収入		-	-	-	-
②支出	施設管理運営業務委託料	144,167	47,308	98,827	59,153
	委託料	1,870	1,496	429	232
	修繕料	6,934	16,353	17,691	15,765
	新型コロナウイルス減収補填金※1	7,574	-	-	-
	エネルギー価格高騰補填金※2	-	32,624	-	-
	令和6年能登半島地震損害補填金※3	-	-	7,891	2,515
	その他 (電信電話料、土地借上料等)	51,690	6,704	7,285	5,962
	備品購入費	-	-	5,294	4,377
合 計		212,235	104,485	137,417	88,004
③公費投入額 (②-①)		212,235	104,485	137,417	88,004
④入館者1人当たりの公費投入額 (単位:円)		866	311	374	245

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの。令和4年度、5年度は、減収分を施設管理運営業務委託料として支出した。

※2 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

※3 令和6年能登半島地震による損害の協議申し入れがあった指定管理施設について、損害額を算定し補填したもの

決算書 (P374～P375)	10款5項5目 水族博物館費	所管課等	教育総務課
事業名	水族博物館管理運営費		

○指定管理者の収支状況等（税抜）

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	291,339	403,044	450,175	429,526
	施設管理運営業務委託料	131,061	43,007	-	53,775
	新型コロナウイルス減収補填金	7,574	-	-	-
	エネルギー価格高騰補填金	-	32,624	-	-
	令和6年能登半島地震損害補填金	-	-	-	2,515
	その他	805	2,142	1,570	2,084
②支出		430,779	480,817	545,206	487,891
差引（①－②）		0	0	△93,461	9

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症対策や設備の修繕の実施により、安全・安心に利用できる施設環境を確保した。
- ・展示替えや展示解説板の増設などにより、展示の質の向上や発信する情報の充実を図り、学習効果を高めることができた。
- ・新型コロナウイルス感染症と社会経済活動の両立に向けた動きを踏まえながら、教育プログラムを再開することで、入館者の興味や学習ニーズに応えるとともに、教育普及を進めることができた。
- ・鯨類の飼育環境の検証結果を踏まえた取組を進めることにより、鯨類の飼育環境の向上を図ることができた。

【事業の成果】

- ・指定管理者の知見や技術をいかした管理運営の下、施設の安全性を確保するとともに、社会教育機能やレクリエーション機能の充実を図り、水生生物や自然環境について、子どもから大人まで幅広い年齢層の方々が楽しみながら学ぶことができる施設として、さらには、内外から大勢が集う楽しみの場、憩いの場として多様なニーズに応えた。
- ・鯨類の飼育環境の検証結果を踏まえた取組の状況や取組を通して得られたデータや、その分析結果、知見などを検証委員会の委員であった専門家に報告し、鯨類の健全な飼育展示に資するための成果が得られている旨の評価を得た。

決算書 (P374～P375)	10 款 5 項 5 目 水族博物館費	所管課等	教育総務課
事業名	水族博物館管理運営費		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・水生生物を通じた学びの場、交流の場として、市民を始めとする多くの方々の持続的な利用を確保するために、社会情勢や入館者のニーズを踏まえた展示や教育プログラムの実施、施設の適切な管理運営を進めていくとともに、施設・設備の状態などを踏まえ、効果的なリニューアルの内容や実施時期について、検討していく。
- ・鯨類の飼育環境の検証結果を踏まえた取組の対応結果を踏まえて、引き続き鯨類の健全な飼育展示に取り組んでいく。

水族博物館整備運営基金残高について

令和 4 年度末残高	令和 5 年度増減額	令和 5 年度末残高	増減額内訳
81,985,806 円	△43,315,439 円	38,670,367 円	増額（積立）分 18,072,661 円 寄附金 18,071,000 円 基金運用利子 1,661 円 減額（繰入）分 △61,388,100 円 施設管理運営業務委託料 58,873,100 円 能登半島地震損害補填金 2,515,000 円

※令和 4 年度末残高、令和 5 年度増減額及び令和 5 年度末残高は、出納整理期間中の増減を含む。

【執行残額について】

入札差金	2,158	
・営繕修繕料	1,926	
・防風壁設置・撤去業務委託料	232	
その他	47,384	
・施設管理運営業務委託料	39,674	
・能登半島地震損害補填金	5,376	
・使用料及び賃借料ほか	2,334	

(単位：千円)

決算書 (P376～P377)	10 款 5 項 6 目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	歴史文化推進費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
18,699	17,399				2,657 (寄附金等)	14,742
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,300		128		1,172	

【目的】

県内最多を誇る 373 件の指定文化財を始めとした当市の歴史・文化的資源を次世代へ継承するため、新たな文化財の指定や上越市「地域の宝」認定制度の運用などにより、文化財の適切な保護を図り、活用を促進する。

令和 5 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

歴史文化推進費 8,796

○実施内容、これまでの経過等

- ・文化財調査審議会の開催 (2 回)
- ・無形民俗文化財の記録撮影
米大舟、八社五社、井ノロ古代詞、高野しげさ、月影雅楽、飯室神楽ほか
- ・文化財等の管理委託 (史跡の草刈りや遊歩道整備等)
直峰城跡、宮口古墳、京ヶ岳城跡、黒保遺跡出土炉跡、菅原古墳、水科古墳群
- ・無形民俗文化財保存事業への補助
西横山小正月行事、一本杖スキー術、井ノロ古代詞、岡田の春駒、折平の獅子舞ほか
- ・指定文化財保存管理事業への補助
浄興寺本堂、虫川の大スギ、木造阿弥陀如来坐像、山寺薬師、富永家住宅ほか
- ・上越市「地域の宝」認定制度の運用
ガイドブックの発行、上越市「地域の宝」のつどいの開催、広報上越における連載ほか
- ・御城印の頒布
春日山城、高田城の御城印 (通常版、特別版) の頒布
- ・日本遺産北前船の周知
北前船カードラリー、北前船まちあるき、市内各施設における展示の実施、小中学校への周知、北前船日本遺産推進協議会事業ほか

地域独自の予算事業 8,603

- ・地域の名所巡りと次世代啓発事業 (高田区) (530)
- ・見る・知る・伝える「甞れ高田城」郷土史家 植木宏氏と巡る 城下町高田の紹介発信事業 (高田区) (1,930)
- ・松平忠輝公と五郎八姫の会事業 (高田区) (44)
- ・三郷地区の歴史・史跡を研究する事業 (三郷区) (212)

決算書 (P376～P377)	10款5項6目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	歴史文化推進費		

- ・郷土芸能無形文化財「春駒」の伝承事業（三郷区）（796）
- ・今泉城跡の大ケヤキ保護活用事業（和田区）（297）
- ・地域の宝 稲谷【だんとうの大杉】保存事業（高土区）（760）
- ・青野「剣の舞」復活事業（保倉区）（72）
- ・城ヶ峰砦・長浜砦の景観保全事業（谷浜・桑取区）（1,275）
- ・里神楽伝承による地域の元気創造事業（谷浜・桑取区）（543）
- ・宮口古墳公園・遊歩道維持管理事業（牧区）（385）
- ・郷土芸能伝承・保存事業（牧区）（242）
- ・長峰城址保存活用事業（吉川区）（1,116）
- ・「縄文の郷 中郷」の具現化（中郷区）（401）

【事業の成果】

- ・指定文化財及び上越市「地域の宝」等について、保存・活用に必要な助言や情報発信などにより、次世代への継承の下支えを行った。
- ・令和2年度から令和4年度までの3年間で認定した上越市「地域の宝」の全118件を掲載したガイドブックを発行し、「地域の宝」の周知を図った。
- ・春日山城跡、高田城跡の魅力を発信する事業の一つとして御城印を頒布することで、城跡への来城と市内周遊を促進した。（通常版：通年、城跡の記念日等に頒布する特別版：年5回）
- ・日本遺産の認定を受けた北前船寄港地として、北前船に関する文化財（構成文化財）を紹介するカードを作成してカードラリーを開始したほか、北前船ゆかりの地を巡るまちあるきや市内各施設におけるパネル展示、小中学校への周知等により、北前船の歴史や文化を広く市民に周知した。
- ・令和6年能登半島地震に伴い被害を受けた指定文化財の災害復旧に対し補助金を交付することにより、文化財の保存を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・引き続き、上越市「地域の宝」認定制度などにより文化財保護に努め、文化財や「地域の宝」の次世代への継承を図る。
- ・少子高齢化、人口減少による担い手不足に伴い、無形の民俗文化財の継承が危ぶまれていることから、現状把握及び映像記録を継続して行い、次世代への継承を図る。

【執行残額について】

- 事業未実施 128
- ・市指定無形民俗文化財保存事業補助金
- その他 1,172
- ・会計年度任用職員報酬ほか



上越市「地域の宝」ガイドブック



北前船まちあるき

(単位：千円)

決算書 (P376～P377)	10 款 5 項 6 目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	春日山城跡保存整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
20,234	20,104				4,330 (寄附金等)	15,774
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	130				130	

【目的】

春日山城跡を風雨等による損傷から守り、適切な維持管理を行うとともに、地域学習の教材として利活用を図る。

令和 5 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和5年度目標

- ・土砂崩落や倒木、鳥獣被害等による遺構損傷を防ぎ、城跡の保護を図る。
- ・土の一袋運動等、市民協働で城跡保全を図る。
- ・曲輪や空堀、土塁など山城の特徴を体感できるよう修景を図る。
- ・春日山城跡ものがたり館入館者数：27,000 人
(実績 令和2年度：16,475 人、令和3年度：16,903 人、令和4年度：27,328 人)

○実施内容、これまでの経過等

[実施内容]

(1)維持管理

- ・草刈りや低木伐採などの景観整備
- ・春日山パトロール維持管理人等による日常点検、修繕等
- ・遊歩道の修繕、樹木の剪定及び伐採、鳥獣被害対策(イノシシ対策)等
- ・植生管理や雨水管理等についての専門家(植生・土木・災害復興科学)からの指導
- ・春日山城史跡広場及び春日山城跡ものがたり館等の管理
委託先：春日山城史跡広場管理組合
(地元5町内〔大豆、春日、中門前、谷愛宕、春日野〕で組織)
内 容：史跡広場及び史跡保存用地の草刈り、修繕(広場内の腐食した杭・木柵等の交換)、施設管理(受付、案内、清掃業務)、大手道の維持管理等
- ・カキツバタ(大手道入口、監物堀^{けんもつぼり})の維持管理、春日山城史跡広場の復元した土塁の修繕、春日山城跡ものがたり館の屋根修繕、エアコン修繕、給水配管更新等
- ・令和6年能登半島地震による被災状況の確認及び被災箇所の応急処置(天守台跡ほか)

決算書 (P376～P377)	10款5項6目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	春日山城跡保存整備事業		

(2)活用

- ・市民団体や地元小中学校との協働による土の一袋運動や松葉かきの継続
- ・城跡の散策や保全活動を行う講座（春日山講座）の実施（3回）
- ・「日本100名城」スタンプラリーの参加者数：8,126人（令和4年度：6,784人）

[これまでの経過]

- ・昭和10年8月27日 春日山城跡が国史跡に指定（408,102.83㎡）
- ・昭和49年3月18日 国史跡に追加指定（54,236.13㎡）
- ・昭和55年3月 『史跡春日山城跡保存管理計画』策定
- ・昭和55年3月14日 国史跡に追加指定（11,587.29㎡）
- ・平成8年6月28日 春日山城史跡広場・春日山城跡ものがたり館をオープン
- ・平成11年3月 『春日山城跡整備5か年計画』策定（平成30年度終了）
- ・平成12年3月7日 国史跡に追加指定（112,241.29㎡）
- ・平成21年3月 改訂『史跡春日山城跡 保存管理計画書』策定

○施設の管理実績（春日山城跡ものがたり館）

- ・利用者数等

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計画	実績
入館者数	16,903人	27,328人	27,000人	27,745人

- ・施設管理における市の収支状況

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
	合計	-	-	-	-
②支出	施設維持管理費	5,571	5,578	14,081	12,274
	うち委託料	3,808	3,781	4,226	4,226
	その他	2,483	2,475	2,481	2,500
	合計	8,054	8,053	16,562	14,774
③公費投入額（②-①）		8,054	8,053	16,562	14,774
④利用者1人当たりの公費投入額（単位：円）		476	295	613	532

○目標達成状況

入館者数は27,745人となり、目標を達成することができた。

決算書 (P376～P377)	10款5項6目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	春日山城跡保存整備事業		

【事業の成果】

- ・雨水処理や植生管理、鳥獣被害対策等、必要な維持管理を実施し、城跡の保護を図ることができた。
- ・草刈りや土の一袋運動などを市民団体や小中学校等の協力を得て実施することにより、山城景観の維持管理を図るとともに、城跡の保護活動を通じて、子どもたちの郷土の史跡に対する愛着を深めることができた。
- ・講座の開催や小中学校との連携により、地域学習の教材としての利活用を図ることができた。
- ・春日山城史跡広場管理組合への委託により、春日山城史跡広場や大手道及び春日山城跡ものがたり館の管理を適切に行い、良好な環境を維持することができた。
- ・春日山城史跡広場及び春日山城跡ものがたり館の各種修繕を行い、老朽化した施設の維持管理を適切に行うことができた。
- ・令和6年能登半島地震発生後、速やかに被害状況を確認し、通行止め等の安全対策や応急措置を実施することで、来訪者の安全及び城跡の保護を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・史跡としての価値を損ねることがないように、引き続き、専門家の指導を仰ぎ、城跡の保護及び広大な史跡用地の良好な環境の保全に努める。
- ・春日山城跡ものがたり館について、春日山城跡のガイダンス施設として、施設の適切な維持管理や、春日山城跡に関連する資料展示により、城跡の魅力発信に努める。

【執行残額について】

その他 130

- ・現業会計年度任用職員報酬ほか



市民団体と小学生による松葉かき



春日山城史跡広場 土墨の草刈り

(単位：千円)

決算書 (P376～P377)	10款5項6目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	市内遺跡発掘調査事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
14,872	11,382	5,649	991			4,742
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	3,490					3,490

【目的】

各種開発事業から遺跡を保護するため、発掘調査を行い、開発事業との円滑な調整を図る。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・県営ほ場整備事業や個人住宅建設事業等の開発地内で試掘・確認調査を実施した。
- ・試掘・確認調査の結果は、市内発掘調査概要報告書として刊行した。

<試掘調査>

(単位：ha)

開発事業	所在地	調査対象面積
県営ほ場整備事業・中江有田地区	大字三田ほか	10.5
県営ほ場整備事業・石沢地区	大字石沢ほか	15.4
県営ほ場整備事業・島田地区	大字島田ほか	19.5
県営ほ場整備事業・原之町地区	吉川区原之町	6.0
県営ほ場整備事業・和田北部地区	大字岡原ほか	27.0
県営ほ場整備事業・三郷地区	大字西松野木	21.3
県営ほ場整備事業・青野地区	大字青野	18.8
雨水貯留施設建設予定地内	五智一丁目	0.2
県営ため池等整備事業・針地区	板倉区関根	0.4
宅地造成予定地内	藤新田二丁目	1.0
合計		120.1

決算書 (P376～P377)	10款5項6目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	市内遺跡発掘調査事業		

<確認調査>

(単位：㎡)

遺跡名（開発事業）	所在地	調査対象面積
釜蓋遺跡（県営ほ場整備事業予定地内）	大和五丁目	33,000
今池遺跡（県営ほ場整備事業・今池地区）	大字今池	7,000
岡原遺跡群（県営ほ場整備事業・和田北部地区）	大字岡原ほか	55,000
三ツ橋寺屋敷遺跡（県道小猿屋黒井停車場線建設事業）	大字三ツ橋	4,390
沢田遺跡（県道小猿屋黒井停車場線建設事業）	大字三ツ橋	7,090
県史跡 高田城跡（上教大学附属中学校設備更新工事）	本城町	228
金谷遺跡（民間開発予定地）	国府一丁目	615
春日山城跡（個人住宅建設）	大字大豆字土橋	270
春日山城跡（個人住宅建設）	大字大豆字柳大門	471
春日山城跡（個人住宅建設）	中門前一丁目	179
深谷遺跡（個人住宅建設）	大字三ツ橋	191
観音堂B遺跡（個人住宅建設）	大字富岡	304
合 計		108,738

<詳細分布調査>

(単位：ha)

遺跡名（開発事業）	所在地	調査対象面積
今池遺跡（県営ほ場整備事業・今池地区）	大字今池	6.4
本長者原廃寺（県営ほ場整備事業・三郷地区）	大字本長者原	4.0
合 計		10.4

【事業の成果】

- ・各種開発事業との調整により、円滑に試掘・確認調査を行うことができた。
- ・釜蓋遺跡史跡指定地に隣接する南側の土地（県営ほ場整備事業予定地内）の確認調査により、釜蓋遺跡の範囲を確認した。
- ・県営ほ場整備事業・中江有田地区及び青野地区に係る試掘調査において、それぞれ新遺跡を発見した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

今後も事業主体との調整を円滑に行い、遺跡の保護に努める。

決算書 (P376～P377)	10款5項6目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	市内遺跡発掘調査事業		

【執行残額について】

その他 3,490

- ・ 現業会計年度任用職員報酬 1,003
- ・ 機械借上料 1,633
- ・ 現業会計年度任用職員期末手当ほか 854



県営ほ場整備事業・三郷地区
試掘調査風景



今池遺跡 県営ほ場整備事業予定地内
確認調査風景

(単位：千円)

決算書 (P376～P377)	10款5項6目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	ほ場整備等遺跡発掘調査事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
99,113	96,568		96,568			
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2,545			2,064	481	

【目的】

県営ほ場整備事業等の開発事業地内において遺跡の発掘調査を行い記録保存する。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・事業主体である新潟県上越地域振興局から委託を受け、上越魚沼地域振興快速道路事業地内における本発掘調査及び整理作業を実施した。

<本発掘調査>

遺跡名	所在地	調査面積
神田茨山窯跡	三和区神田地内	3,764 m ²

<整理作業>

遺跡名	所在地	本発掘調査年度
神田原山窯跡	三和区神田地内	令和元年度
原山遺跡		令和2年度
蓮花寺五輪塔群・立場遺跡	三和区末野地内	令和4年度

【事業の成果】

- ・本発掘調査や整理作業、報告書作成について、計画どおり事業を遂行することで開発との調整を図ることができた。
- ・本発掘調査の成果について、発掘調査報告書の刊行や、現地見学会の実施などにより、地域の歴史に関する理解や関心を深める契機とすることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

蓮花寺五輪塔群・立場遺跡、神田茨山窯跡の整理作業を計画的に進め、発掘調査報告書を刊行する。

決算書 (P376～P377)	10款5項6目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	ほ場整備等遺跡発掘調査事業		

【執行残額について】

入札差金 2,064

・印刷製本費

その他 481

・現業会計年度任用職員報酬ほか



神田茨山窯跡 本発掘調査風景



蓮花寺五輪塔群・立場遺跡
整理作業風景

(単位：千円)

決算書 (P378～P379)	10款5項6目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	埋蔵文化財センター管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
15,496	14,845				60 (使用料等)	14,785
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	651			256	395	

【目的】

埋蔵文化財の保護のため、調査研究・保存管理・普及公開を行うとともに、小中学校の総合的な学習の時間や春日山城跡・春日山城跡ものがたり館などを結ぶ歴史巡りのルートとして利活用を図り、郷土の歴史に関する理解を深めてもらう。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和5年度目標

入館者数：27,000人

(実績 令和2年度：20,298人、令和3年度：23,051人、令和4年度：26,220人)

○実施内容、これまでの経過等

(1)施設の維持管理

(2)施設利用学習の実施

施設利用学習…27件(788人 直江津小学校、大潟町中学校、公民館事業など)

(3)展示の実施

・常設展示「発掘された中世の頸城一越後府中・春日山城を中心に」(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

・ミニ展示「遺跡から出土したヒスイ」(令和5年4月1日～令和6年3月17日)

・「越後上越 謙信公と春日山城展」を開催(継続)

(魅力創造課事業 令和5年4月1日～令和6年3月31日)

○施設の管理実績

・利用者数等

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計画	実績
入館者数	23,051人	26,220人	27,000人	26,987人

決算書 (P378～P379)	10款5項6目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	埋蔵文化財センター管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	13	18	8	15
	その他	38	49	18	45
	合計	51	67	26	60
②支出	施設維持管理費	10,225	12,166	14,466	13,953
	うち委託料	1,983	2,114	2,434	2,387
	その他	574	629	1,030	892
	合計	10,799	12,795	15,496	14,845
③公費投入額 (②-①)		10,748	12,728	15,470	14,785
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位: 円)		466	485	573	548

○目標達成状況

入館者数は26,987人となり、目標を若干下回った。

【事業の成果】

- ・埋蔵文化財保護の拠点として、調査研究、保存管理及び普及公開を行うとともに、小中学校の施設利用学習の場として供することで、地域への誇りや愛着の醸成に寄与した。
- ・縄文時代から戦国時代の出土品を始め、市内で出土したヒスイの玉作り関係資料や春日山城跡に関連する資料を展示することで、当市の歴史、魅力を伝えることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・春日山城跡に関連する資料の展示の充実や、令和6年度開催予定の「こしのくに国府サミット in 上越」にちなんだ企画展示により、入館者数の維持に努める。
- ・市内小中学校等へ施設利用学習や総合的な学習の時間等での活用をPRし、児童生徒が埋蔵文化財に触れる機会を提供していく。

【執行残額について】

入札差金 256

- ・修繕料ほか

その他 395

- ・会計年度任用職員報酬ほか

(単位：千円)

決算書 (P378～P379)	10 款 5 項 6 目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	「弥生のムラ」コミュニティパーク事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
46,506	43,802	20,363		4,500	95 (諸収入)	18,844
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2,704			583	2,121	

【目的】

北陸新幹線上越妙高駅に近接する国指定史跡吹上遺跡・釜蓋遺跡の保存・活用を図る。

令和 5 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和 5 年度目標

- ・歴史講座等の実施により、市民に郷土への関心や理解を深めてもらう。
- ・釜蓋遺跡ガイダンス入館者数：13,000 人
(実績 令和 2 年度：8,934 人、令和 3 年度：8,973 人、令和 4 年度：13,274 人)

○実施内容、これまでの経過等

(1)保存

- ・釜蓋遺跡隣接地の一部が令和 4 年 11 月に国史跡に追加指定されたことから、追加指定地の公有化を行い、保存を図った。

(2)活用

- ・各区の出土品の展示・解説や、初心者向けの講座、体験を取り入れた講座などを「じょうえつ歴史講座」として実施し、上越の歴史文化の魅力を発信した。
- ・校外学習(見学、勾玉・土器づくり体験)に加え、釜蓋遺跡ガイダンスへの来館が困難な小学校等には、職員による出前授業を実施した。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により休止していた吹上・釜蓋遺跡応援団との連携による体験活動や「吹上・釜蓋遺跡まつり」を再開した。
- ・釜蓋遺跡公園を外部団体のイベントや屋外ローカル 5 G ラボとしての利活用に供した。

(3)維持管理

- ・釜蓋遺跡ガイダンス、吹上遺跡及び釜蓋遺跡の維持管理の実施

(4)これまでの経過

- 平成 20 年 7 月 28 日 吹上遺跡と釜蓋遺跡が国史跡に指定
- 平成 27 年 3 月 24 日 吹上遺跡の出土品(1,320 点)が新潟県有形文化財(考古資料)に指定
- 平成 27 年 4 月 16 日 釜蓋遺跡公園開園
- 令和 4 年 11 月 10 日 釜蓋遺跡国史跡指定地に隣接する土地の一部が国史跡に追加指定

決算書 (P378～P379)	10款5項6目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	「弥生のムラ」コミュニティパーク事業		

○施設の管理実績

・利用者数等

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計画	実績
利用者数	8,973人	13,274人	13,000人	15,733人
体験者数	—	907人	—	932人

・施設管理における市の収支状況

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	—	—	—	—
	その他	120	128	140	94
	合計	120	128	140	94
②支出	施設維持管理費	14,247	14,719	17,704	15,661
	うち委託料	7,319	7,804	8,683	8,575
	その他	1,729	2,297	28,802	28,141
	合計	15,976	17,016	46,506	43,802
③公費投入額(②-①)		15,856	16,888	46,366	43,708
④利用者1人当たりの公費投入額(単位:円)		1,767	1,272	3,567	2,778

○目標達成状況

入館者数は15,733人となり、目標を達成することができた。

【事業の成果】

- ・釜蓋遺跡の隣接地の一部が令和4年11月に国史跡に追加指定されたことから、追加指定地を公有化することにより、遺跡を保護することができた。
- ・小学校等の校外学習や出前授業、じょうえつ歴史講座により、上越の歴史に関する理解や関心を深める契機とすることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・じょうえつ歴史講座や釜蓋遺跡ガイドの展示更新などを通じ、吹上遺跡・釜蓋遺跡の情報発信と遺跡の価値の共有を図ることにより、上越市の歴史文化の魅力発信に努める。
- ・釜蓋遺跡ガイドや公園において、吹上・釜蓋遺跡応援団と連携した活動を展開することにより、吹上遺跡・釜蓋遺跡などの魅力を発信する。

決算書 (P378～P379)	10款5項6目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	「弥生のムラ」コミュニティパーク事業		

【執行残額について】

入札差金 583
 ・印刷製本費ほか
 その他 2,121
 ・会計年度任用職員報酬 1,002
 ・会計年度任用職員期末手当ほか 1,119



凡例	
□	釜蓋遺跡の国史跡指定地
■	令和5年度に公有化した範囲

(単位：千円)

決算書 (P378～P379)	10 款 5 項 6 目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	歴史的建造物等整備支援事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
32,803	30,503				28,078 (財産収入等)	2,425
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2,300					2,300

【目的】

市民団体等が行う歴史的建造物等の整備に対し、補助金を交付することにより、歴史的建造物等の保存と活用を図る。

令和 5 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和5年度目標

歴史的建造物等整備支援事業補助金の交付件数：3件

○実施内容、これまでの経過等

[制度概要]

- ・対象事業：歴史的建造物及び産業遺産の保全又は改修に係る事業で、主体的なまちづくり活動による地域コミュニティの形成に資するもの
- ・補助率：3/4 (限度額 7,500 千円)
- ・財源：一般財源、歴史的建造物等整備支援基金、ふるさと上越応援基金ほか
- ・認定：建築や歴史の専門家で構成する選定審査会の答申を経て対象事業を認定
- ・交付決定：認定後、補助金交付申請に基づき交付を決定

[実施内容]

- ・歴史的建造物等整備支援事業選定審査会の開催 (2回)
- ・歴史的建造物等整備支援事業補助金交付 (4件)
- ・歴史的建造物等整備支援基金への積立て

決算書 (P378～P379)	10款5項6目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	歴史的建造物等整備支援事業		

[補助金の交付内容]

事業名	整備の内容	交付額
浄福寺本堂整備事業 (新規 単年度事業)	国登録有形文化財 浄福寺本堂 (柿崎区) のサッシ入替え	2,590
高野醤油味噌醸造店修復景観改善事業 (新規 単年度事業)	国登録有形文化財 高野醤油味噌醸造店の内蔵、外壁改修ほか	2,876
林富永邸整備事業 (新規 2か年事業 1年目)	上越市文化財 富永家住宅 (三和区) の屋根板金工事、杉下見板塗装工事	2,604
旧酢屋呉服店 能登半島地震による災害復旧工事 (新規 単年度事業)	国登録有形文化財 旧酢屋呉服店店舗兼主屋の応急養生	2,361

○目標達成状況

歴史的建造物等整備支援事業補助金の交付件数は4件で、目標を達成することができた。

【事業の成果】

- ・市民団体等が行う歴史的建造物等の整備に対し補助金を交付することにより、歴史的建造物等の保存と活用を推進することができた。
- ・令和6年能登半島地震に伴い被害を受けた国登録有形文化財の災害復旧に対し補助金を交付することにより、歴史的建造物の保存を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

市内の歴史的建造物等の現状や活用の動向について、継続的に情報収集を行っていく。

【執行残額について】

その他 2,300

- ・歴史的建造物等整備支援事業補助金ほか



高野醤油味噌醸造店 (整備後)



浄福寺本堂 (整備後)

(単位：千円)

決算書 (P380～P381)	10 款 6 項 1 目 保健体育総務費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	保健体育総務費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
20,761	16,683		2,083		9,899 (財産収入等)	4,701
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	4,078		49		4,029	

【目的】

スポーツの振興により、心身の健康の保持・増進、青少年の健全育成及び地域の連帯感の醸成等を図るため、市民が多様なスポーツ活動に親しむための環境づくりを進める。

令和 5 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

保健体育総務費 12,031

○令和5年度目標

- ・生涯スポーツ指導員の活動を促進し、生涯スポーツを普及・推進する。
- ・地域クラブ活動コーディネーターを配置し、子どもたちの地域スポーツ活動の仕組みや制度づくりの円滑化を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・生涯スポーツ指導員がスポーツ推進委員と連携し、市民の健康保持・増進を目的とした運動教室等を定期的に開催した。
- ・子どもたちのスポーツ活動の環境整備に向けて、地域クラブ活動コーディネーターが各スポーツ団体と連絡調整を図り、各種支援制度の周知を行った。

○目標達成状況

- ・各種運動教室等を定期的に開催することにより、地域における生涯スポーツの普及・推進を図るとともに、健康への意識の高揚につなげることができた。
- ・子どもたちの地域スポーツ活動の環境整備に向けて、国の実証事業を活用した支援制度を試行的に実施した。

スポーツ推進審議会 106

○令和5年度目標

第3次上越市総合教育プランに基づくスポーツ施策に関する意見を把握する。

○実施内容、これまでの経過等

第3次総合教育プランに基づく施策について、スポーツ推進審議会(委員14人)を3回開催し、事業内容を審議した。

決算書 (P380～P381)	10款6項1目 保健体育総務費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	保健体育総務費		

○目標達成状況

第3次総合教育プランに基づく施策の実施状況や諸課題について説明し、各委員から様々な意見を集約することができた。

スポーツ推進委員 4,546

○令和5年度目標

市民への実技指導や各種イベント等に参画し、地域スポーツの推進役として活動する。

○実施内容、これまでの経過等

地域で開催するニュースポーツや健康・体力づくり教室、各種イベント等について、主催者からの指導者の派遣（出前講座）要請に基づき、スポーツ推進委員を派遣した。

○目標達成状況

スポーツ教室や体力測定会に133回派遣し、約4,500人の市民に対して実技指導等を行い、地域のスポーツ活動を推進することができた。

<スポーツ推進委員による出前講座の実施状況>

(単位:回・人)

項目	令和3年度		令和4年度		令和5年度		比較(R5-R4)	
	回数	延べ人数	回数	延べ人数	回数	延べ人数	回数	延べ人数
スポーツ教室等	138	2,747	172	4,406	133	4,504	△39	98

【事業の成果】

- ・生涯スポーツ指導員やスポーツ推進委員が各種教室やイベント等の企画・運営に携わるとともに、地域や学校の主催事業に参画し、指導・助言を行ったことにより、市民のスポーツ活動を推進することができた。
- ・地域クラブ活動コーディネーターが上越市スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブと連携し、地域のスポーツ活動の環境整備に向けた支援制度の周知や相談対応に取り組むことができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・生涯スポーツ指導員と連携し、地域スポーツの推進役であるスポーツ推進委員の知識や技能のスキルアップを継続的に取り組んでいく。
- ・子どもたちのスポーツ活動の環境整備に向けて、引き続き、国の実証事業を活用した支援制度を試行・検証し、より実効性の高い運用方法を検討していく。

【執行残額について】

事業未実施 49

- ・レルヒ少佐顕彰会祝砲打ち上げ委託料 44
- ・運搬料 5

その他 4,029

- ・会計年度任用職員報酬等 3,207
- ・スポーツ推進委員報酬 465
- ・郵便料 128
- ・スポーツ推進審議会委員報酬ほか 229

(単位：千円)

決算書 (P380～P381)	10 款 6 項 2 目 学校保健管理費	所管課等	学校教育課
事業名	学校保健管理費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
126,718	119,617	159	1,100		17,865 (負担金等)	100,493
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	7,101				7,101	

【目的】

園児、児童生徒及び教職員の健康の保持増進と、安全で快適な学校環境の整備を図る。

令和 5 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

健康診断の実施 57,420

○令和 5 年度目標

- ・健康診断が円滑に実施できるように、関係機関と適切な連携を図る。
- ・全ての教職員がストレスチェックを受検し、高ストレス者が希望する場合は医師による面接指導を実施する。
- ・検診器具の破損状況を確認するとともに、児童生徒の体格等にあった検診器具を配当できるようにする。
- ・業務補助員を適切に配置し、検診業務が円滑に実施できるようにする。

○実施内容、これまでの経緯等

- ・幼児、児童、生徒、教職員の健康診断を学校教育法及び学校保健安全法に基づき適切に実施した。
- ・幼児、児童、生徒には、学校医による内科、歯科、耳鼻科、眼科検診を実施するとともに、検査機関に委託して尿検査、心臓検査（幼児を除く。）を実施した。
- ・教職員には、検査機関に委託して胸部エックス線検査、尿検査、心臓検査、血液検査等を実施した。
- ・労働安全衛生法に基づき、教職員を対象にストレスチェックを検査機関に委託して実施し、高ストレス者には、面接指導を働きかけ、希望者へ面接指導を実施した。
- ・教職員ストレスチェックの実施結果
 調査対象者の受検率：82.8%（前年度比 4.0 ポイント増） 1,009 人／1,218 人
 高ストレス判定率：9.0%（前年度比 0.2 ポイント減） 91 人／1,009 人
 面接指導実施率：12.1%（前年度比 3.7 ポイント増） 11 人／91 人
 （参考）令和 5 年度教職員の精神疾患による休職 累計 13 人（前年度比 1 人増）
- ・健康診断に使用する器具の滅菌作業を行うとともに、感染症対策に要する検診器具を整備した。
- ・健康診断の業務繁忙期に、児童生徒数の多い学校へ業務補助員を配置した。

決算書 (P380～P381)	10款6項2目 学校保健管理費	所管課等	学校教育課
事業名	学校保健管理費		

○目標達成状況

- ・児童生徒及び教職員の健康診断を適切かつ円滑に実施することができた。
- ・ストレスチェックの結果、高ストレス者に面接指導を周知し、希望者に面接指導を実施した。
- ・適切な方法で検診器具を滅菌消毒するとともに、劣化破損状況や感染症対策の必要性に応じて健診器具を補充することができた。

歯科保健事業 6,315

○令和5年度目標

歯科衛生士派遣事業を継続し、歯科保健教育の推進を図る。

○実施内容、これまでの経緯等

- ・幼稚園、小中学校へ学級数に応じて歯科衛生士を派遣し、歯肉炎予防に重点を置いたブラッシング指導を実施した。
- ・国の方針及び県のマニュアルに基づき、フッ化物洗口を希望する幼児、児童生徒に対し、医療用医薬品を使用してフッ化物洗口を実施した。

○目標達成状況

口腔衛生における歯肉炎予防に重点を置いた指導を行うことで、歯科保健教育を行うことができたが、令和5年度歯肉炎罹患率は小学校で0.9%（前年度比0.4ポイント増）、中学校で1.7%（前年度比0.5ポイント増）と、前年度より悪化した。

生活習慣病予防教育の推進 5,326

○令和5年度目標

市内全小学校5年生及び中学校2年生の希望者を対象に血液検査を実施することにより、関係機関と連携した事前・事後指導を行い、生活習慣改善指導と生活習慣病予防教育の推進を図る。

○実施内容、これまでの経緯等

- ・希望者を対象に、小学校5年生に脂質検査、中学校2年生に脂質検査と貧血検査を実施した（全額公費負担）。
- ・血液検査実施の前後において、保健師や栄養士、養護教諭が児童生徒及び保護者に対し、血液検査の必要性や重要性について事前指導を行うとともに、検査結果を踏まえ、学級活動における集団事後指導を実施したほか、学校の個別面談、PTAなどの機会を利用して個別事後指導を実施した。

○目標達成状況

- ・血液検査の実施率は小学校5年生81.6%（前年度比0.4ポイント減）、中学校2年生74.9%（前年度比4.7ポイント減）であり、小・中学生ともに実施率が低下した。
- ・血液検査の結果、血液の状態が心配な状況にある児童生徒について、保健師等による検査後の指導や医療機関の受診につなげることができた。

決算書 (P380～P381)	10款6項2目 学校保健管理費	所管課等	学校教育課
事業名	学校保健管理費		

自動体外式除細動器（AED）の保守管理 2,972

○令和5年度目標

AEDが常に正常な状態で使用可能であり、社会体育等の活動においても使用できるようにする。

○実施内容、これまでの経緯等

- ・AEDが正常な状態で常に作動するよう、業者に委託して保守点検を実施した。
- ・校外学習や学校行事での使用を希望する学校に教育委員会が所有するAEDを貸し出した。

○目標達成状況

実際にAEDの使用が必要な事案はなかったものの、保守点検を実施し、市立幼稚園、小中学校に設置のAEDを正常な状態で常に維持し、社会体育等の活動においても使用できるように管理することができた。

保健室備品の整備 3,136

○令和5年度目標

体調の悪い児童生徒等が安心して休養できるよう、必要な備品を購入配備し、保健室の環境を維持する。

○実施内容、これまでの経緯等

- ・老朽化などにより使用困難で優先度の高い洗濯機やベッドなどの保健備品を計画的に購入した。
- ・清潔な状態で使用できるよう、保健室寝具のクリーニングを実施した。
- ・聴力検査が正確に実施できるよう、オーディオメータの点検・修繕を行った。

○目標達成状況

各学校の現状を確認し、使用困難となっている備品を計画的に入れ替え、保健室の環境を保持することができた。

学校環境衛生検査の実施 12,982

○令和5年度目標

- ・全ての学校において、学校薬剤師と連携し、学校環境衛生検査を円滑に実施する。
- ・検査測定器具や検査消耗品について優先度の高いものから整備を進める。

○実施内容、これまでの経緯等

- ・学校薬剤師と連携し、学校保健安全法に基づく学校環境衛生検査を実施した。
- ・検査機関に委託し、教室の空気検査及びプール水質検査を実施した。

○目標達成状況

市立幼稚園及び全小中学校において、適切な衛生環境を保持することができた。

決算書 (P380～P381)	10款6項2目 学校保健管理費	所管課等	学校教育課
事業名	学校保健管理費		

保健室衛生材料費 7,071

○令和5年度目標

新型コロナウイルス感染症を始めとした学校における感染症予防対策の充実を図るとともに、緊急対応ができるよう救急薬品、衛生材料の整備に努める。

○実施内容、これまでの経緯等

- ・学校における感染症対策用の物品や消毒液、健康診断において医師や業務補助員が使用する感染症予防具、けがの手当て等に使用する医薬品や衛生材料等を確保できるよう、幼児、児童生徒数や学級数に応じて調達した。
- ・インフルエンザによる学年・学級閉鎖等の措置状況（学校数と延べ学級数）
令和4年度 26校 70学級
令和5年度 58校 289学級
- ・感染性胃腸炎による学年、学級閉鎖等の措置状況
令和4年度 閉鎖措置なし
令和5年度 1校 1学級
- ・新型コロナウイルス感染症罹患者
令和4年度 5,461人 47校で学年・学級閉鎖
令和5年度 2,811人 32校で学年・学級閉鎖
- ・学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアルに基づき、感染症対策のための消毒液や物品を購入した。
- ・児童生徒が生理用品を緊急的に必要とした場合に早急に対応できるよう、校内の女子トイレ、多目的トイレに生理用品を配備した。

○目標達成状況

- ・感染症の予防対策及び拡大防止のために、必要な消毒薬や物品等を確保・購入し、感染症予防を図ることができた。
- ・救急処置に必要な薬品や衛生材料を購入し、救急処置の環境保持を行うことができた。

学校における食物アレルギー対応 43

○令和5年度目標

学校における食物アレルギー対応に関する委員会を開催し、学校における食物アレルギー対応について協議・検討を行うとともに、関係者の連携体制を構築する。

○実施内容、これまでの経緯等

- ・学校等の教職員を対象に食物アレルギー対応実務研修を6月に実施した。
- ・献立作成時から給食提供までの間における思い込みと見落としが原因で、令和5年9月に重大な食物アレルギー誤食事故が発生した。
- ・上記の食物アレルギー誤食事故を受け、11月にエピペン所持児童生徒が在籍する学校の管理職や学級担任等を対象に、食物アレルギー発生時における緊急対応研修を実施した。
- ・上越市立幼稚園・学校食物アレルギー対応委員会を1月に開催し、委員から上記の食物アレルギー誤食事故に係る意見聴取を行った。
- ・食物アレルギー誤食事故の検証と改善策を取りまとめた「上越市立小学校における食物アレルギー誤食事故にかかる報告書」（以下、「誤食事故にかかる報告書」という）に基づく改善策を実施したほか、「学校における食物アレルギー対応の手引き」において、公表基準の見直しを行った。

決算書 (P 380～P 381)	10 款 6 項 2 目 学校保健管理費	所管課等	学校教育課
事業名	学校保健管理費		

○目標達成状況

- ・上越市立幼稚園・学校食物アレルギー対応委員会を開催し、「園、学校における食物アレルギー対応の基本方針」、「学校における食物アレルギー対応の手引き」、「食物アレルギー誤食事故における対応」について、意見を聴取し、関係者との連携を図ることができた。

災害賠償補償保険への加入負担など 24,352

○実施内容、これまでの経緯等

- ・児童生徒又は園児が学校又は園の管理下で負傷した場合に医療費等の災害給付を行うため、日本スポーツ振興センター及び全国市長会の保険に加入した。
- ・災害給付金 日本スポーツ振興センター分 延べ1,565人 10,983千円
全国市長会分 7人 7千円
- ・損害賠償金 6件 10,240千円

【事業の成果】

- ・健康診断は関係法に基づいて適切に実施し、疾病の予防処置、治療勧告を行うことができた。
- ・生活習慣病予防教育の推進では、血液検査の結果を保健師、栄養士による血液検査前後の保健指導の活用につなげることができた。
- ・保健室備品の整備は、使用困難となった備品等を入れ替え、保健室の環境整備を保持することができた。
- ・学校環境衛生検査の実施は、学校薬剤師や委託業者と連携して行うことで、児童生徒にとって安全で望ましい学習環境を保持することができた。
- ・各学校の女子トイレ等に生理用品を配備し、児童生徒が生理用品を緊急的に必要とした場合に対応できるよう環境を整えた。
- ・感染症対策として、必要な消毒薬や物品等を確保・購入し、学校での予防対策を講じることができた。
- ・上越市立幼稚園・学校食物アレルギー対応委員会を開催し、意見を聴取するとともに、関係機関との連携を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・歯科保健事業では、歯科衛生士による歯肉炎予防の指導及びフッ化物洗口を実施することができたが、感染症予防のため、実技による指導が実施できない状況があった。今後は実技を取り入れた指導を実施していく。
- ・新型コロナウイルス感染症などの感染症に対応するため、予防対策の徹底、消毒液や必要物品の計画的な購入及び保健室の休養スペースの備品の整備を進める。
- ・血液検査実施率は、小中学生で減少した。ウェブ入力による申込み方法に変更したこと、事故防止のための事前保健調査が実施されるようになったことが要因であり、今後も安全な実施を優先しつつ、実施率の向上に努めていく。あわせて、検査の事前指導において実施に向けた啓発を図るとともに、検査の結果を踏まえた事後指導を引き続き実施し、生活習慣病予防に向けた保健指導に活用する。
- ・食物アレルギー誤食事故の発生防止については、全教職員が食物アレルギー対応への当事者意識を持ち、緊急時に適切に対応するため、研修や訓練を繰り返し実施していく。
- ・誤食事故にかかる報告書及び学校の現状・課題を踏まえ、適宜「学校における食物アレルギー対応の手引き」を見直し、改定を行う。

決算書 (P380～P381)	10款6項2目 学校保健管理費	所管課等	学校教育課
事業名	学校保健管理費		

【執行残額について】

その他	7,101
・学校医、園医等報酬	2,350
・消耗品費	1,052
・手数料	1,283
・教職員ストレスチェック等委託料	184
・検査器具滅菌委託料	295
・自動車借上料	238
・自動体外式除細動器借上料	773
・損害賠償金	365
・全国市長会学校災害補償金ほか	561

(単位：千円)

決算書 (P382～P383)	10款6項3目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	学校体育施設開放事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
9,728	9,071				2,706 (使用料)	6,365
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	657			208	449	

【目的】

小中学校の体育施設を活用し、青少年の健全育成及び地域スポーツ等の活動を支援する。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和5年度目標

学校体育施設の適切な維持管理に努め、安全で快適なスポーツ環境を維持する。

○実施内容、これまでの経過等

市立小学校及び中学校の体育施設を市民に開放した。

・実施状況

区分	開放学校数 又は開放学校名	利用期間	主な利用内容
体育館	小学校 46校 中学校 21校 合計 67校	・月～金曜日… 19:00～21:00 ・土曜日 … 9:00～21:00 ・日曜日 … 9:00～17:00 ※一部学校で異なる場合あり	バレーボール、バスケットボール、バドミントン、フットサル、スポレック、卓球、剣道、ソフトバレー
グラウンド	小学校 41校 中学校 11校 合計 52校	・月～金曜日… 5:00～7:00 17:00～日没 ・土曜日 … 5:00～日没 ・日曜日 … 5:00～17:00 ※一部学校で異なる場合あり	野球、サッカー
テニスコート	大湊町中学校	・土日祝日…8:30～日没	テニス、ソフトテニス
プール	大島小学校	・7月28日～8月16日… 9:30～15:30	水泳
	浦川原小学校	・7月22日～8月13日…10:00～17:15	

決算書 (P382～P383)	10款6項3目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	学校体育施設開放事業		

・利用実績：延べ人数 (単位：人)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	直近比較増減
体育館	370,603	380,745	414,579	33,834
グラウンド	63,660	63,194	59,948	△3,246
テニスコート	1,125	883	1,469	586
プール	310	596	380	△216
合計	435,698	445,418	476,376	30,958

○目標達成状況

学校体育施設の設備の修繕や備品の更新を順次行うなど、快適なスポーツ環境を維持することができた。

【事業の成果】

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い利用者数は徐々に増加しており、市内スポーツ団体の活動場所として、一般スポーツ施設と併せて学校体育施設の利用を促進することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

学校体育施設の鍵管理について、鍵管理人にかかる業務負担や防犯上の観点を踏まえ、鍵の受渡しを不要とするデジタル方式（スマートロック等）への移行を検討する。

【執行残額について】

入札差金	208	
・委託料		149
・使用料及び賃借料ほか		59
その他	449	
・報酬		58
・報償金		103
・消耗品費		73
・修繕料		180
・郵便料ほか		35

(単位：千円)

決算書 (P382～P383)	10 款 6 項 3 目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	少年スポーツ活動育成事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
31,315	14,375		5,267			9,108
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	16,940		167	1	16,772	

【目的】

ジュニア世代から体を動かす習慣や基礎的な体力を身に付けるとともに、競技力の向上を図るため、各競技団体等の育成・強化に向けた取組を支援する。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

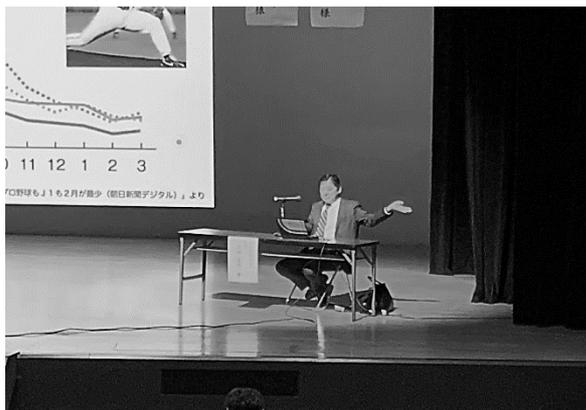
少年スポーツ育成事業や育成団体への補助 14,375

○令和5年度目標

各競技団体が行うジュニア選手のスポーツ活動を支援する。

○実施内容、これまでの経過等

- 各競技団体が行うジュニア選手の競技力の向上や指導者の養成などの取組に対して、補助金の交付による支援を行った。
- 日本体育大学から専門指導者を招き、ジュニアアスリート及び指導者を対象に技術面や指導面に関する研修会を開催した。
- 休日における中学生のスポーツ活動を推進するため、国の実証事業を活用し、受皿となる指導者への謝金や指導資格を取得する費用の一部を支援した。
- 小中学生及び保護者に市内競技団体等の活動状況を紹介するため、「地域クラブフェア」を開催した。



日本体育大学（専門指導者）による研修会



地域クラブフェアの様子

決算書 (P382～P383)	10款6項3目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	少年スポーツ活動育成事業		

<主な事業の実施状況>

補助金等	金額
上越市スポーツ少年団補助金	218
ジュニアトップアスリート育成強化事業補助金	1,615
地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業補助金（県補助事業）	1,422
ジュニアスポーツクラブ補助金	1,527
日本体育大学との連携事業	104
上田市交流事業「野球の日」野球大会	36
上越市指導者確保業務委託料（国実証事業）	5,681
地域クラブフェア（国実証事業）	3,626

○目標達成状況

各競技団体の活動を支援することにより、ジュニア選手の競技力の向上に寄与することができた。

【事業の成果】

- ・各競技団体のニーズを踏まえ、競技力の向上を目指したトップアスリート育成事業や指導力の向上を図るための指導者研修会などに取り組み、各競技の普及促進につなげることができた。
- ・指導者に対する謝金や指導資格の取得費を支援したことにより、スポーツ活動の環境整備に取り組むことができた。
- ・各スポーツ団体等の活動状況を紹介する「地域クラブフェア」を開催し、子どもたちにスポーツへの興味や関心を持つきっかけの場を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・全国大会や国際大会で活躍できるジュニア選手を育成するため、引き続き、上越市スポーツ協会と連携し、各競技団体の活動を支援していく。
- ・休日における中学生のスポーツ活動を推進し、競技人口の裾野を広げていくため、上越市スポーツ協会及び総合型地域スポーツクラブと連携し、様々なスポーツを知る機会を継続的に提供していく。

【執行残額について】

事業未実施	167	
・居多まつり武道大会補助金（中止）		
入札差金	1	
・地域クラブフェア会場設営業務委託料		
その他	16,772	
・指導者確保業務委託料	13,850	
・上越市指導者謝金補助金	2,143	
・報償金	492	
・保険料ほか	287	

(単位：千円)

決算書 (P382～P383)	10款6項3目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	一般スポーツ活動推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
29,873	27,876				8,259 (財産収入等)	19,617
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,997		320	1	1,676	

【目的】

市民に多様なスポーツ活動の機会を提供するため、スポーツ団体等が開催するスポーツ教室や大会等を支援する。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

各種補助事業等 22,361

○令和5年度目標

スポーツ団体等が開催するスポーツ教室や大会等を支援し、生きがいきづくりや競技力向上などの多様なスポーツ活動を推進する。

○実施内容、これまでの経過等

各競技におけるアスリートの育成・強化のほか、市民が参加しやすいスポーツ教室や大会等を行う各種スポーツ団体に対して、補助金等の交付による支援を行った。

・補助金等の交付状況

補助金等	交付額
スポーツ指導者養成事業補助金	880
スポーツアスリート育成強化事業補助金	1,068
上越市スポーツ協会運営費補助金	7,472
スポーツ施設借上料等補助金	848
新潟県駅伝競走大会補助金	481
ビーチラグビー大会補助金(中止)	-
高田城ロードレース大会補助金	3,600
ビーチバレーボール大会補助金	183
えちご・くびき野100kmマラソン交付金(準備年)	2,650
市民スポーツ祭補助金	786

決算書 (P382～P383)	10款6項3目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	一般スポーツ活動推進事業		

補助金等	交付額
レルヒカップスキー大会補助金	425
やすづかスポーツ大会補助金	53
牧区体育祭補助金	138
米山山麓ロードレース大会交付金	876
大潟区体育祭補助金（中止）	146
くびき総合スポーツフェスタ補助金	189
スカイスポーツ大会交付金	550
吉川区体育祭補助金（中止）	105
中郷歩くスキーとクロスカントリースキー大会補助金（中止）	168
松ヶ峯トリムマラソン大会補助金	323
中郷区体育祭補助金	291
清里区秋季スポーツ交流会補助金	196
清里区冬季スポーツ交流会補助金	140
三和区スポーツ大会補助金	485
名立区駅伝競走大会補助金	207
名立区歩こまいか名立補助金（中止）	22
名立区不動山登山補助金（中止）	19
その他	60
合 計	22,361

・スポーツ教室や大会等の参加状況 (単位：人)

項 目	令和3年度 延べ参加者数	令和4年度 延べ参加者数	令和5年度 延べ参加者数	比較 (R5-R4)
上越市スポーツ協会及び加盟団体の主催事業	39,745	84,749	72,616	△12,133
総合型地域スポーツクラブの主催事業	26,895	32,296	46,443	14,147
上越市スポーツ推進委員による活動	3,442	4,528	4,292	△236
上越市スポーツ少年団の主催事業	405	454	619	165
その他各種スポーツイベント	2,171	15,044	11,785	△3,259
合 計	72,658	137,071	135,755	△1,316

決算書 (P382～P383)	10款6項3目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	一般スポーツ活動推進事業		

・国体種目別の出場選手数 (単位：人)

種目	陸上競技	バレーボール	ビーチバレーボール	体操	剣道	柔道	セーリング
人数	1	0	2	3	0	0	2

種目	ゴルフ	卓球	スキー	スケート	アイスホッケー	水泳	サッカー
人数	2	2	14	2	4	1	1

種目	テニス	弓道	空手道	なぎなた	スポーツクライミング	銃剣道	合計
人数	1	1	1	1	1	3	42

○目標達成状況

スポーツ団体等が開催するスポーツ教室や大会等などの取組に対して、補助金の交付による支援を行ったことにより、多様なスポーツ活動を提供することができた。

スポーツ振興奨励金 4,200

○令和5年度目標

- ・奨励金交付目標 青少年：個人 141件、団体 12件
成人：個人 40件、団体 3件

○実施内容、これまでの経過等

全国大会及び国際大会へ出場する選手や団体に対して、奨励金を交付した。(全国大会：個人 10千円、団体 50千円、国際大会：個人 30千円、団体 150千円)

- ・奨励金交付実績 青少年：個人 211件、団体 13件
成人：個人 73件、団体 13件

○目標達成状況

小中高一貫指導体制による競技力向上を目指した指定6団体(空手道、バレーボール、体操競技、山岳、硬式野球、スキー)の選手の活躍や、市民のスポーツ振興奨励金の認知度が高まったことにより、交付実績は目標を上回った。

ファミリー綱引大会 325

○令和5年度目標

参加チーム数：40チーム以上

○実施内容、これまでの経過等

市内の町内会、小学校区、地域自治区を単位にチームを募集し、令和5年10月15日(日)に第40回大会をリージョンプラザ上越で開催した。

決算書 (P382～P383)	10 款 6 項 3 目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	一般スポーツ活動推進事業		

○目標達成状況

新型コロナウイルス感染症の影響により 4 年ぶりの開催となったが、参加チーム数は 25 チーム（令和元年度の前回大会と比較して 11 チーム減少）となり、目標を達成することができなかった。

地域独自の予算事業 990

- ・有田地区体育・レクリエーション事業（有田区）（549）
- ・うらスポマラソン大会開催事業（浦川原区）（325）
- ・団体結成 20 周年記念事業（中郷区）（116）

【事業の成果】

新型コロナウイルス感染症の 5 類感染症への移行後も中止や縮小となったイベントは若干あったものの、地域や競技団体等が主催するスポーツ教室や大会等の運営を支援することにより、市民の健康維持や体力増進とともに、地域の活性化につなげることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

持続的にスポーツ活動の機会を提供するため、引き続き、上越市スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブと連携し、地域や競技団体等が主催するイベントの円滑な運営に向けて支援していく。

【執行残額について】

事業未実施	320	
・各種スポーツ大会補助金		
入札差金	1	
・駐車場誘導業務委託料ほか		
その他	1,676	
・スポーツアスリート育成強化事業補助金ほか		1,373
・報償金		194
・消耗品費		59
・保険料ほか		50

(単位：千円)

決算書 (P382～P383)	10款6項3目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	地域スポーツクラブ育成事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
9,343	6,643		736			5,907
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2,700				2,700	

【目的】

市民に多様なスポーツに取り組む機会を提供するため、総合型地域スポーツクラブの自発的な組織の再編と健全な運営を支援するほか、小中学校におけるスポーツ活動等を支援する。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

スポーツ活動サポート事業 2,444

○令和5年度目標

小中学校におけるスポーツ活動の指導体制を踏まえ、各競技団体と連携し、運動部活動等を支援する。

○実施内容、これまでの経過等

児童・生徒の競技力向上のため、専門的な知識と技術を持つ外部指導者を小中学校に派遣し、スポーツ活動を支援した。

<小中学校への指導者派遣状況>

(単位：校・回)

区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		比較増減 (R5-R4)	
	学校数	回数	学校数	回数	学校数	回数	学校数	回数
小学校	11	67	11	67	4	27	△7	△40
中学校	17	961	18	1,073	17	771	△1	△302
合計	28	1,028	29	1,140	21	798	△8	△342

○目標達成状況

部活動の技術指導や大会への引率等が可能な部活動指導員への移行が進んだことにより、外部指導者の派遣回数は減少したものの、相対的には児童生徒の運動部活動を支援することができた。

決算書 (P 382～P 383)	10 款 6 項 3 目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	地域スポーツクラブ育成事業		

総合型地域スポーツクラブの育成 3,361

○令和5年度目標

- ・市内の総合型地域スポーツクラブと連携し、地域のスポーツ活動を推進する。
- ・中学校における部活動の見直しと協調し、子どもたちが将来にわたり継続してスポーツに親しむことができる地域スポーツ活動の仕組みや制度づくりに取り組む。

○実施内容、これまでの経過等

- ・指導者の知識と技術の向上を目指し、「子供たちが楽しみながら、発達段階に応じた動きを身に付けられる指導法（アクティブ・チャイルド・プログラム）」をテーマに研修会を実施した。
- ・総合型地域スポーツクラブの未設置区域（大島区・牧区）で「いきいきスポーツ教室」を開催し、スポーツに親しむ機会を提供した。
- ・総合型地域スポーツクラブで構成する上越SCネットの活動を支援するため、運営費補助金を交付した。
- ・子どもたちのスポーツ活動の環境整備に向けて、地域クラブ活動コーディネーターが各スポーツ団体と連絡調整を図り、各種支援制度の周知を行った。

○目標達成状況

- ・総合型地域スポーツクラブの安定的な活動を支援することにより、地域住民のニーズに即したスポーツ活動の実践につなげることができた。
- ・子どもたちの地域スポーツ活動の環境整備に向けて、国の実証事業を活用した支援制度を試行的に実施した。

<総合型地域スポーツクラブの設立状況>

設立数：12クラブ（令和6年3月31日現在）

内 訳：津有北部、高士、北諏訪、安塚区、浦川原区、柿崎区、大潟区、頸城区、中郷区、板倉区、三和区、名立区

地域独自の予算事業 838

- ・三和の子どもたちの健やかな成長を支援する事業（三和区）（838）

【事業の成果】

- ・部活動指導員への移行と連携を図りながら、児童生徒のスポーツ活動を支援することができた。
- ・地域クラブ活動コーディネーターが上越市スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブと連携し、地域スポーツ活動の環境整備に向けた支援制度の周知や相談対応に取り組むことができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・総合型地域スポーツクラブの会員数が減少傾向にある中、持続可能なクラブ運営が課題であることから、総合型地域スポーツクラブ間で連携を図りながら、スポーツ活動を普及推進していくための体制を検討していく。
- ・子どもたちのスポーツ活動の環境整備に向けて、引き続き、国の実証事業を活用した支援制度を検証し、より実効性の高い運用方法を検討していく。

決算書 (P382～P383)	10款6項3目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	地域スポーツクラブ育成事業		

【執行残額について】

その他 2,700

- ・報償金 1,113
- ・スポーツ活動環境整備委託料 1,054
- ・地域独自の予算事業補助金 517
- ・消耗品費ほか 16

(単位：千円)

決算書 (P382～P385)	10 款 6 項 3 目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	東京オリンピック・パラリンピックホストタウン事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
6,899	6,525				2,068 (諸収入)	4,457
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	374				374	

【目的】

東京 2020 オリンピック・パラリンピックにおけるホストタウンの取組の成果を生かし、スポーツの振興を図るとともに市民の国際交流への関心や共生社会への理解を深める。

令和 5 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和 5 年度目標

- ・小中学校におけるパラスポーツ体験を通じて、スポーツや共生社会への関心を高める。
- ・オリンピックによる技術指導により、ジュニア選手等の技術力の向上につなげる。
- ・ドイツのホストタウンの取組による市民の自主的な交流を促進し、ドイツとのつながりを深めるほか、継承する取組を支援する。

○実施内容、これまでの経過等

・パラスポーツ体験事業 210

<日本財団パラスポーツサポートセンター「あすチャレ！スクール」の実施>

夏季パラリンピックに出場した選手を講師に招き、車いす陸上競技のデモンストレーションや実技体験などを行った。

※実施校：保倉小学校、富岡小学校、里公小学校、名立中学校、吉川中学校

<日本財団パラスポーツサポートセンター「あすチャレ！ジュニアアカデミー」の実施>

夏季パラリンピック陸上競技スラロームで金メダルを獲得した選手と冬季パラリンピックアイスホッケーで銀メダルを獲得した選手を講師に招き、共生社会への一步を踏み出すワークショップ型の授業を行った。

※実施校：高田西小学校、富岡小学校

・パラリンピアン交流会 61

東京 2020 パラリンピック柔道強化委員長兼日本代表女子監督及び選手を講師に招き、上越地域の小学生、中学生、高校生に対して柔道の実技指導を行った。

決算書 (P 382～P 385)	10 款 6 項 3 目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	東京オリンピック・パラリンピックホストタウン事業		



「あすチャレ！スクール」でのパラスポーツ体験



パラリンピアン交流会の様子

- ・ドイツへのジュニア選手派遣事業 5,909
当市の柔道と体操競技のジュニア選手をドイツへ派遣し、合同練習やドイツ文化を学ぶなど、国際交流を図る機会を提供した。
- ・ドイツホストタウン記念大会補助金 345
各競技団体が主催する柔道及び体操競技のホストタウン記念大会に対して、補助金の交付による支援を行った。

○目標達成状況

パラリンピアンによるパラスポーツ体験を通じて、子どもたちに共生社会を学ぶ機会を提供するとともに、柔道及び体操競技のジュニア選手をドイツへ派遣し、スポーツを通じた国際交流により、競技意欲の向上につながった。

【事業の成果】

パラリンピアンとのパラスポーツ体験やドイツのジュニア選手との交流を通じて、子どもたちの共生社会への関心を高めるとともに、国際感覚を養う機会となった。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

学校やスポーツ団体と連携を図りながら、引き続き、子どもたちにスポーツを通じた多様な学びの場や国際交流などの機会を提供し、共生社会への理解を深めていく。

【執行残額について】

その他	374
・報償費	174
・旅費	10
・需用費	12
・委託料	90
・使用料及び賃借料	33
・負担金補助及び交付金	55

(単位：千円)

決算書 (P384～P385)	10款6項4目 体育施設費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
307,525	278,961			115,100	24,000 (諸収入)	139,861
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	28,564			28,564		

【目的】

スポーツ施設が適正に配置され、安全で快適にスポーツができる環境を整備する。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和5年度目標

- ・柿崎屋内水泳プール大規模改修工事を完了する。(令和4・5年度の2か年工事)
- ・大潟体育センター大規模改修工事の設計に着手するほか、上越総合運動公園テニスコートや高田城址公園野球場など、各種スポーツ施設の機能維持・向上を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・主な工事等

施設名	金額	内容
柿崎屋内水泳プール	82,647	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修工事 57,855 ・大規模改修電気設備工事 6,169 ・大規模改修機械設備工事 16,567 ・工事監理業務委託 2,056
上越総合運動公園テニスコート	85,206	・人工芝張替工事(8コート)
高田城址公園野球場	18,590	・照明不点修繕工事
柿崎総合体育館	16,280	・ガスヒートポンプエアコン更新工事
安塚B&G海洋センタープール	14,602	<ul style="list-style-type: none"> ・上屋膜体取替工事 13,310 ・照明LED化工事 1,292
高田城址公園庭球場(第三)	8,976	<ul style="list-style-type: none"> ・擁壁クラック、塗装改修工事 2,684 ・観客席入替工事 3,608 ・照明修繕工事 2,684
三和体育館	6,600	・バスケットゴール更新工事

決算書 (P 384～P 385)	10 款 6 項 4 目 体育施設費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設整備事業		

○目標達成状況

- ・令和 4 年度に着手した柿崎屋内水泳プールの大規模改修工事を完了した。
- ・大潟体育センター大規模改修工事の設計を完了したほか、その他予定した全ての工事を計画どおりに実施できた。

【事業の成果】

施設の老朽化や機能の維持・拡充のための修繕工事等に取り組み、安全で快適なスポーツ環境を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

施設の老朽化が年々進んでいく状況を踏まえ、老朽度や利用実態等を考慮した中で、スポーツ環境を持続できるよう、計画的な整備を進めていく。

【執行残額について】

入札差金	28,564
・委託料	4,592
・工事請負費	23,972

(単位：千円)

決算書 (P384～P385)	10款6項4目 体育施設費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
363,196	338,465			15,600	26,559 (使用料等)	296,306
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	24,731	567	10	1,891	22,263	

【目的】

スポーツ施設が適正に配置され、安全で快適にスポーツができる環境を整備する。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

(指定管理施設：合併前上越市)

○指定管理の状況

指定管理施設 (18施設)	上越市総合体育館、上越勤労身体障害者体育館、スポーツ公園(野球場、多目的運動広場、庭球場)、上越市藤野野球場、上越市びょうぶ谷野球場、上越市少年野球場、上越市春日山ペタンク場、上越市高田スポーツセンター、高田城址公園(弓道場、陸上競技場、野球場、庭球場)、上越市今泉スポーツ広場(野球場、多目的広場)、上越総合運動公園(テニスコート)、上越市教育プラザ体育館
制度導入年度	平成20年度
指定管理者名	一般財団法人上越市スポーツ協会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計画	実績
利用者数	271,855人	325,278人	484,050人	367,418人

令和5年度は、イベントや大会等が徐々に再開したことにより、前年度と比較して42,140人増加した。

決算書 (P384～P385)	10款6項4目 体育施設費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設管理運営費		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				予算現額	実績
①収入		—	—	—	—
②支出	施設管理運營業務委託料	55,979	65,299	65,313	65,312
	エネルギー価格高騰補填金 ※1	—	3,905	1,897	1,491
	令和6年能登半島地震損害補填金※2	—	—	—	696
	その他	13,616	11,462	26,982	24,229
	合計	69,595	80,666	94,192	91,728
③公費投入額(②-①)		69,595	80,666	94,192	91,728
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位:円)		256	248	195	250

※1 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

※2 令和6年能登半島地震の影響による損害の協議申し入れがあった指定管理施設について、損害額を算定し補填したもの

・指定管理者の収支状況等

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	18,476	29,113	29,900	28,795
	施設管理運營業務委託料	55,979	65,299	65,312	65,312
	エネルギー価格高騰補填金	—	3,905	—	1,491
	令和6年能登半島地震損害補填金	—	—	—	696
	その他	3,310	4,710	4,000	4,797
	合計	77,765	103,027	99,212	101,091
②支出		77,858	100,358	102,654	96,898
差引(①-②)		△93	2,669	△3,442	4,193

決算書 (P384～P385)	10款6項4目 体育施設費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設管理運営費		

(指定管理施設：柿崎区)

○指定管理の状況

指定管理施設 (5施設)	上越市柿崎総合体育館、柿崎総合運動公園(野球場、グラウンド、人工芝グラウンド)、上越市柿崎屋内水泳プール
制度導入年度	平成20年度
指定管理者名	新東産業株式会社
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計画	実績
利用者数	69,995人	76,421人	125,500人	80,652人

令和5年度は、イベントや大会等が徐々に再開したことにより、前年度と比較して4,231人増加した。

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				予算現額	実績
①収入		—	—	—	—
②支出	施設管理運営業務委託料 ※1	34,167	32,717	44,390	44,390
	エネルギー価格高騰補填金 ※2	—	2,857	5,224	—
	その他	2,456	491	416	416
	合計	36,623	36,065	50,030	44,806
③公費投入額(②-①)		36,623	36,065	50,030	44,806
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位：円)		523	472	399	556

※1 施設管理運営業務委託料(指定管理料)は、指定管理者から提出された実績報告書の内容を精査中であるため、令和5年度における支払額を計上しているもの

※2 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

決算書 (P384～P385)	10款6項4目 体育施設費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設管理運営費		

・指定管理者の収支状況等※

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	5,964	7,454	5,500	7,352
	施設管理運営業務委託料	34,167	32,717	44,390	44,390
	エネルギー価格高騰補填金	—	2,857	—	—
	その他	2,033	1,764	2,234	2,162
	合計	42,164	44,792	52,124	53,904
②支出		42,122	43,218	54,437	48,831
差引(①-②)		42	1,574	△2,313	5,073

※令和5年度の収支状況は、指定管理者から提出された実績報告書に基づき計上しているもの

(直営施設)

○施設の管理実績

・市直営施設数

区 分	体育館	野球場	テニスコート	多目的広場	プールほか	計
合併前上越市	1	—	—	2	4	7
13区	15	2	4	7	13	41
合 計	16	2	4	9	17	48

・利用者数

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計 画	実 績
利用者数	288,620人	300,229人	312,300人	300,015人

令和5年度の利用者数は、前年度と比較して214人減少のおおむね横ばいとなった。

決算書 (P384～P385)	10款6項4目 体育施設費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	21,171	20,286	22,435	21,650
	その他	39,762	4,417	3,446	4,909
	合計	60,933	24,703	25,881	26,559
②支出	維持管理費	265,061	266,016	219,071	201,931
	うち委託料	90,231	90,017	98,993	92,718
	その他	—	—	—	—
	合計	265,061	266,016	219,071	201,931
③公費投入額(②-①)		204,128	241,313	193,190	175,372
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位:円)		707	804	619	585

<参考:スポーツ推進課所管施設数(令和5年度末現在)>

区 分	体育館	野球場	テニスコート	多目的広場	プールほか	計
合併前上越市	5(4)	6(6)	3(3)	4(2)	7(3)	25(18)
13区	16(1)	3(1)	4(0)	9(2)	14(1)	46(5)
合 計	21(5)	9(7)	7(3)	13(4)	21(4)	71(23)

※()内は指定管理施設数

【事業の成果】

- ・新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い利用者数は徐々に増加しており、適切なスポーツ施設の維持管理により安全で快適なスポーツ環境を提供することができた。
- ・浦川原プールについて、老朽化に伴いプール開放を浦川原小学校で実施することとし、令和6年3月末をもって施設を廃止した。
- ・春日山ペタンク場について、利用者数が少なく、今後の利用も見込めないことから、令和6年3月末をもって施設を廃止した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

コロナ禍前の利用者数の回復に向けて、引き続き、各種イベント等の開催を各競技団体等と検討し、施設の利用促進を図っていく。

決算書 (P 384～P 385)	10 款 6 項 4 目 体育施設費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設管理運営費		

【執行残額について】

事業費節減	567	
・消耗品費		
事業未実施	10	
・諸会議出席負担金		
入札差金	1,891	
・営繕修繕料		367
・委託料		917
・備品購入費		567
・工事請負費ほか		40
その他	22,263	
・報酬		624
・報償費		468
・旅費		321
・光熱水費等		7,075
・修繕料		861
・委託料		5,358
・使用料及び賃借料		239
・補償、補填及び賠償金		6,934
・役務費ほか		383

決算書 (P384～P385)	10款6項4目 体育施設費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設管理運営費		

○スポーツ推進課所管施設における利用者数の状況

(単位：人)

No.	区分	施設名	管理区分	令和4年度	令和5年度	差引増減	
1	合併前上越市	総合体育館	指定管理	79,188	71,163	△ 8,025	
2		勤労身体障害者体育館	指定管理	20,021	24,002	3,981	
3		高田スポーツセンター	指定管理	29,031	33,382	4,351	
4		教育プラザ体育館	指定管理	42,811	72,995	30,184	
5		高田城址公園野球場	昼間	指定管理	6,470	9,158	2,688
			ナイター	指定管理	1,518	1,551	33
6		今泉スポーツ広場野球場	昼間	指定管理	3,570	3,856	286
			ナイター	指定管理	600	487	△ 113
7		スポーツ公園野球場	昼間	指定管理	1,765	4,407	2,642
			ナイター	指定管理	1,033	2,402	1,369
8		藤野野球場	昼間	指定管理	2,060	2,159	99
			ナイター	指定管理	3,347	4,568	1,221
9		びょうぶ谷野球場	昼間	指定管理	2,871	3,498	627
			ナイター	指定管理	2,483	3,091	608
10		少年野球場	指定管理	11,489	12,824	1,335	
11		スポーツ公園多目的広場	指定管理	6,327	9,140	2,813	
12		今泉スポーツ広場多目的広場	指定管理	4,420	4,455	35	
13		教育プラザ多目的広場	直営	2,915	1,845	△ 1,070	
14		東埠頭緑地多目的広場	直営	5,730	5,320	△ 410	
15		上越総合運動公園テニスコート	昼間	指定管理	14,420	19,157	4,737
			ナイター	指定管理	3,966	7,157	3,191
16		高田公園庭球場（第1・3）	昼間	指定管理	8,445	9,170	725
			ナイター	指定管理	1,493	2,440	947
17		スポーツ公園庭球コート	昼間	指定管理	3,466	4,799	1,333
			ナイター	指定管理	55	290	235
-		上越市庭球コート	指定管理	72	-	△ 72	
18		高田城址公園陸上競技場	指定管理	66,047	52,109	△ 13,938	
19		高田城址公園弓道場	指定管理	8,310	9,158	848	
20		春日山ベタング場	指定管理	-	-	-	
21		直江津海岸ビーチバレーコート	直営	5,603	5,698	95	
22		高田西小学校屋外運動場	ナイター	直営	5,280	3,835	△ 1,445
23		春日中学校屋外運動場	ナイター	直営	2,969	2,106	△ 863
24		直江津東中学校屋外運動場	ナイター	直営	2,607	3,184	577
25	保倉体育館	直営	7,645	10,360	2,715		
26	安塚	安塚B&G海洋センター	アリーナほか	直営	3,440	2,108	△ 1,332
27			プール	直営	600	849	249
28	安塚和田スポーツ公園	グラウンド	昼間	直営	1,797	1,954	157
29	浦川原	浦川原体育館	直営	16,531	19,383	2,852	
30		浦川原プール（浦川原小学校プールで実施）	直営	-	-	-	
31	大島	大島多目的ホール	直営	3,786	3,495	△ 291	
32	牧	牧体育館	直営	9,093	8,755	△ 338	
33		牧プール	直営	813	858	45	

決算書 (P384～P385)	10款6項4目 体育施設費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設管理運営費		

(単位：人)

No.	区分	施設名	管理区分	令和4年度	令和5年度	差引増減	
34	柿崎	柿崎総合体育館	指定管理	55,351	56,493	1,142	
35		柿崎体育館	直営	7,513	5,774	△ 1,739	
36		野球場	昼間	指定管理	3,317	1,698	△ 1,619
			ナイター	指定管理	1,218	1,406	188
37		柿崎総合運動公園	グラウンド	指定管理	2,565	2,980	415
38			人工芝グラウンド	昼間	指定管理	9,749	10,657
		ナイター		指定管理	4,221	4,869	648
39		柿崎第1庭球コート	昼間	直営	5,805	5,199	△ 606
			ナイター	直営	4,979	4,294	△ 685
40		柿崎ゲートボール場	直営	80	80	0	
41		柿崎屋内水泳プール	指定管理	0	2,549	2,549	
42	大潟	大潟体育センター	直営	8,161	9,222	1,061	
43		大潟運動広場	直営	3,101	2,146	△ 955	
44		大潟体操アリーナ	直営	8,722	5,800	△ 2,922	
45		上越体操場(ジムリーナ)	直営	47,455	46,248	△ 1,207	
46	頸城	頸城B&G海洋センター	アリーナ	直営	8,880	9,388	508
47			トレーニングルーム	直営	3,685	3,669	△ 16
48			ミーティングルーム	直営	711	859	148
49			プール	直営	13,601	14,115	514
50	いきいきコート	直営	4,917	5,031	114		
51	くびき球場	直営	5,973	4,941	△ 1,032		
52	テニスコート	直営	47	68	21		
53	ふれあいグラウンド	直営	14,490	14,913	423		
54	ゲートボールコート	直営	91	107	16		
55	吉川	吉川体育館	直営	7,065	7,845	780	
56		吉川野球場	直営	859	105	△ 754	
57		吉川テニスコート	昼間	直営	600	430	△ 170
	ナイター		直営	792	717	△ 75	
58	中郷	中郷総合体育館	直営	9,187	10,207	1,020	
中郷総合運動公園		屋外運動場	直営	2,026	2,604	578	
		ゲートボール場	直営	620	245	△ 375	
61	板倉	板倉農業者トレーニングセンター	直営	8,409	8,750	341	
62		板倉北部スポーツセンター	直営	5,654	5,886	232	
63		板倉運動広場	直営	505	890	385	
64		板倉庭球コート	直営	30	27	△ 3	
65		板倉ふれあいゲートボール場	直営	1,865	1,755	△ 110	
66	清里	清里スポーツセンター	直営	25,502	24,702	△ 800	
67		清里スポーツ公園	グラウンド	直営	2,290	3,222	932
68	三和	三和体育館	直営	14,945	16,743	1,798	
69		三和スポーツセンター	直営	7,443	7,448	5	
70		三和西部スポーツハウス	直営	3,311	4,733	1,422	
71		三和スポーツ公園グラウンド	直営	2,106	2,102	△ 4	
合計				701,928	748,085	46,157	

(単位：千円)

決算書 (P386～P387)	10款6項5目 オールシーズンプール費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	オールシーズンプール管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
48,636	47,169					47,169
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,467			110	1,357	

【目的】

スポーツ施設が適正に配置され、安全で快適にスポーツができる環境を整備する。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○指定管理の状況

制度導入年度	平成17年度
指定管理者名	株式会社新潟ビルサービス
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			計画	実績
利用者数	62,369人	56,298人	92,000人	60,193人

令和5年度は、自主事業を中止することなく開催できたため、前年度と比較して3,895人増加した。

決算書 (P 386～P 387)	10 款 6 項 5 目 オールシーズンプー ル費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	オールシーズンプール管理運営費		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
				予算現額	実 績
①収入		—	—	—	—
②支出	施設管理運営業務委託料	31,230	35,798	34,767	34,766
	再算定による増減額※1	6,170	10,738	9,707	9,706
	新型コロナウイルス減収 補填金※2	1,509	—	—	—
	エネルギー価格高騰補填 金※3	—	6,944	4,654	3,702
	令和 6 年能登半島地震損害 補填金※4	—	—	33	33
	その他	5,780	6,017	9,182	8,668
	合計	38,519	48,759	48,636	47,169
③公費投入額 (②-①)		38,519	48,759	48,636	47,169
④利用者 1 人当たりの公費投入額 (単位：円)		618	866	529	784

※1 新型コロナウイルス感染症の影響等があった指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増減した額

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの

※3 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

※4 令和 6 年能登半島地震の影響による損害の協議申し入れがあった指定管理施設について、損害額を算定し補填したもの

決算書 (P 386～P 387)	10 款 6 項 5 目 オールシーズンプ ール費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	オールシーズンプール管理運営費		

・指定管理者の収支状況等

区 分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	25,963	24,314	38,132	26,773
	施設管理運営業務委託料	31,230	35,798	25,060	34,766
	再算定による増減額	6,170	10,738	—	9,706
	新型コロナウイルス減収 補填金	1,509	—	—	—
	エネルギー価格高騰補填 金	—	6,944	—	3,702
	令和 6 年能登半島地震損害 補填金	—	—	—	33
	その他	2,367	2,030	1,987	2,479
	合計	61,069	69,086	65,179	67,753
②支出		61,830	70,462	65,179	67,993
差引 (①－②)		△761	△1,376	0	△240

【事業の成果】

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、利用者数は徐々に増加しており、適切な維持管理により安全で快適なスポーツ環境を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

施設の利用促進に向けて、引き続き、SNSなどによる市民への情報発信の強化を図るとともに、利用者のニーズに合わせた教室の開催を水泳競技団体と検討していく。

【執行残額について】

入札差金	110	
・委託料		
その他	1,357	
・修繕料		405
・指定管理補填金		952

(単位：千円)

決算書 (P386～P387)	10款6項6目 学校給食管理費	所管課等	教育総務課
事業名	学校給食費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,618,211	1,583,344				777,004 (繰入金等)	806,340
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	34,867				34,867	

【目的】

栄養バランスのとれた安全でおいしい給食を提供する。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和5年度目標

- ・「上越市異物混入対応マニュアル」及び「学校における食物アレルギー対応の手引き」に基づき、給食調理における異物混入やアレルギー事故の発生防止を徹底するとともに、万一事案が発生した際には児童生徒の安全を最優先に適切かつ統一的に対応する。
- ・給食で使用する野菜の年間見込量や使用時期、出荷計画等の情報を生産者や納入業者、JAえちご上越等と共有し、青果物市場への出荷品目や出荷量を拡大する等、地場産野菜の使用拡大に向けた取組を進める。(第4次食育推進計画使用率目標17%以上)
- ・学校給食調理業務委託を新たに柿崎学校給食センターで実施する。
(合計60施設：57校、2センター、1園)

○実施内容、これまでの経過等

(1)異物混入防止

- ・調理員による納入時の検収、調理作業前や調理中、配食時の目視確認、学校管理職による調理完了後の検食などにより、異物混入の防止に努めた。
- ・異物混入状況の多くは納入された食材の中に混入していた異物を調理段階で発見したものであった。

<異物混入発生状況>

(単位：件)

年度 混入物	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	件数	うち経口 事案	件数	うち経口 事案	件数	うち経口 事案
金属片・ガラス等	4	0	4	2	4	0
毛、虫、糸等	133	9	111	4	129	5
合計	137	9	115	6	133	5

決算書 (P 386～P 387)	10 款 6 項 6 目 学校給食管理費	所管課等	教育総務課
事業名	学校給食費		

(2)アレルギー対応

- ・入学時及び毎年度調査を実施し、対応が必要な場合は主治医の指示・診断（「学校生活管理指導表」又は診断書・検査結果・口頭指示）に基づき、食物アレルギー誤食事故を起こさないよう保護者、学校と連携し対応した。
- ・「学校における食物アレルギー対応の手引き」に基づき、除去食・代替食等の対応を行ったほか、配膳の食器の色を変えるなど食物アレルギー誤食事故の防止に努めたが、献立作成時から給食提供までの間における思い込みと見落としが原因で、令和5年9月に重大な食物アレルギー誤食事故が発生した。
- ・上記の食物アレルギー誤食事故の対応として、事故の検証と改善策を取りまとめた「上越市立小学校における食物アレルギー誤食事故にかかる報告書」（以下、「誤食事故にかかる報告書」という）に基づく改善策を実施したほか、「学校における食物アレルギー対応の手引き」において、公表基準の見直しを行った。

<食物アレルギー報告者・食物アレルギー給食対応者の状況（各年度5月1日現在）>

年度	児童生徒数	報告人数			給食対応人数				アフラペン有	エピペン処方有
		小学校	中学校	合計	小学校	中学校	合計	割合		
令和3年度	13,289人	329人 (45/48校)	181人 (22/22校)	510人 (67/70校)	192人 (43/48校)	96人 (20/22校)	288人 (63/70校)	2.17%	63人 (12.35%)	54人 (10.59%)
令和4年度	12,957人	331人 (42/47校)	187人 (20/22校)	518人 (62/69校)	174人 (41/47校)	106人 (19/22校)	280人 (60/69校)	2.16%	61人 (11.78%)	55人 (10.62%)
令和5年度	12,643人	340人 (43/47校)	187人 (21/22校)	527人 (64/69校)	159人 (39/47校)	98人 (18/22校)	257人 (57/69校)	2.03%	61人 (11.57%)	52人 (9.87%)

<学校給食における食物アレルギーの誤飲・誤食の件数>

年度	件数	アレルギー対応有		
		アレルギー対応有	エピペン使用	受診有
令和3年度	1	1	0	0
令和4年度	1	1	0	0
令和5年度	1	1	1	1

(3)地場産野菜の使用

- ・学校給食献立に郷土料理や地場産物を使用するふるさと献立の日を毎月設け、上越の食文化や郷土料理を学ぶ機会を提供し、食育を推進した。
- ・地場産野菜の使用を拡大するため、給食で使用する野菜の年間見込量や使用時期、出荷計画等について関係者と情報共有を図り、地場産野菜の使用に努めた。
- ・学校給食用野菜の生産者の裾野を広げる取組として、令和5年7月に若手の生産者、納入業者、JAえちご上越、市の農林水産部、教育委員会が集まり、それぞれの立場における現状と課題の情報共有や、今後の取組について意見交換を行った。

決算書 (P386～P387)	10款6項6目 学校給食管理費	所管課等	教育総務課
事業名	学校給食費		

<学校給食における地場産野菜の使用状況>

(単位：kg、%)

	令和4年度			令和5年度		
	給食使用量	うち地場産	使用割合	給食使用量	うち地場産	使用割合
合併前上越市	246,565.70	22,215.20	9.01	228,123.90	25,347.80	11.11
安塚	2,152.10	194.70	9.05	2,122.90	147.10	6.93
浦川原	5,030.00	378.90	7.53	5,259.30	174.80	3.32
大島	1,622.60	215.40	13.27	1,874.40	245.40	13.09
牧	2,175.10	140.80	6.47	2,254.00	165.30	7.33
柿崎	8,573.40	1,553.30	18.12	12,159.00	1,440.00	11.84
大潟	13,524.10	3,546.20	26.22	15,106.10	3,167.00	20.97
頸城	15,647.90	4,337.90	27.72	18,849.30	4,970.10	26.37
吉川	4,675.10	374.20	8.00	4,857.90	320.30	6.59
中郷	4,423.40	1,071.10	24.21	5,228.20	1,145.00	21.90
板倉	9,941.50	1,789.30	18.00	11,280.50	2,390.40	21.19
清里	4,034.00	1,663.10	41.23	5,324.20	1,375.70	25.84
三和	9,255.10	2,836.30	30.65	10,297.00	1,901.20	18.46
名立	3,364.80	1,335.80	39.70	3,551.40	1,050.30	29.57
13区計	84,419.10	19,437.00	23.02	98,164.20	18,492.60	18.84
市全体	330,984.80	41,652.20	12.58	326,288.10	43,840.40	13.44

(4)民間委託

- ・新たに民間委託を開始した柿崎学校給食センターを含む57校2センター1園において民間委託することにより、体調不良などの理由で急遽調理員の欠員が生じた場合でも、委託業者内で迅速に代替調理員の手配がなされ、安定した給食提供ができた。

(5)給食費

- ・給食に係る食材料費の高騰が保護者の経済的負担とならないよう、学校給食費の値上げは行わず、市が物価高騰相当額を負担した。
- ・学校と連携しながら、保護者に対し徴収方法の周知を図るとともに、口座振替不能の保護者に対し督促を行った。
- ・令和5年12月に、未納者全員に対し一斉催告を実施した。
- ・令和5年8月と令和6年2月に、累計未納額が高額な未納者に対し、臨戸訪問を実施した。

決算書 (P386～P387)	10 款 6 項 6 目 学校給食管理費	所管課等	教育総務課
事業名	学校給食費		

<学校給食費徴収状況>

(単位：円)

		調定額	収納額	未納額 (延べ人数)	収納率 (%)	
					令和4年度	
小 中 学 校	現年度分	781,659,582	774,105,690	7,553,892 (319)	99.03	99.20
	過年度分	26,682,483	3,249,597	23,432,886 (950)	12.18	7.18
	小計	808,342,065	777,355,287	30,986,778 (1,269)	96.17	96.78
幼稚園		1,436,234	1,436,234	0 (0)	100.00	100.00
合計		809,778,299	778,791,521	30,986,778 (1,269)	96.17	96.79

※ 給食費月額 小学校 4,890円 中学校 5,680円 幼稚園 4,500円

※ 高田幼稚園給食費のみ、令和元年10月分から一部副食費免除あり

○目標達成状況

- ・異物混入については、混入件数が前年度より増加したものの、調理工程での確認を徹底し除去に努めた。
- ・食物アレルギー対応については、「学校における食物アレルギー対応の手引き」に基づき、事故発生防止の徹底に努めたが、令和5年9月に、献立作成時から給食提供までの間における思い込みと見落としが原因で、重大な食物アレルギー誤食事故が発生した。
- ・地場産野菜については、関係者と連携・協力し、提供可能な時期や数量を確認しながら献立を作成することや、野菜の調達に際し、規格を調整するなど、生産状況や使用状況などの現状や課題を共有し、工夫・改善を図りながら使用拡大に向けた取組を進めた。その結果、合併前上越市において玉ねぎやキャベツ、大根等の生産・供給量が安定したことで、前年度より使用率が上昇したものの、第4次食育推進計画における使用率目標は達成できなかった。
- ・学校給食調理業務の民間委託は、継続して実施するとともに、令和6年度から新たな委託を実施するための調整を行った。

【事業の成果】

- ・異物混入防止のため、洗浄や調理、数量確認時等、調理作業全体を通じて、目視点検を徹底し、納入された食材に混入した異物を給食提供前に除去することに努め、金属・ガラス等の喫食による事故の発生を防止した。
- ・学校給食調理業務の民間委託を継続して実施し、経費の削減に努めた。
- ・給食費の未納者に対して督促や一斉催告を行ったほか、児童手当からの徴収案内の送付や臨戸訪問を積極的に行うなど、徴収に努めた。
- ・献立作成時に栄養バランスや量を保ちつつ可能な範囲でコストを抑える工夫をし、さらに、物価高騰相当額を市が負担することで、給食費を値上げせず、給食を提供することができた。

決算書 (P386～P387)	10款6項6目 学校給食管理費	所管課等	教育総務課
事業名	学校給食費		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・異物混入の防止については、調理中及び学級での配膳時の確認を引き続き徹底するとともに、万一事故が発生した際に適切に対応できるようマニュアル遵守の徹底を図る。
- ・食物アレルギー誤食事故の発生防止については、誤食事故にかかる報告書に基づく改善策の徹底を図るため、調理員を対象に毎年実施している研修内容を見直し、充実させた上で繰り返し実施していく。また、誤食事故にかかる報告書及び学校の現状・課題を踏まえ、適宜「学校における食物アレルギー対応の手引き」を見直し、改定を行う。
- ・地場産野菜の使用拡大については、給食で使用する野菜の年間見込量や使用時期、生産者からの供給可能作物やその出荷時期等の情報を関係者と引き続き共有し、献立作成・発注を行う。また、生産者の裾野を広げる取組として実施した意見交換会を今後も引き続き開催し、農林水産部と共にJA、関係団体等と連携し、地場産野菜の使用拡大に努める。
- ・給食費の未納について、督促・催告を適時・適切に行い、児童手当からの徴収制度を活用することで現年度中の徴収に努めるとともに、長期滞納者については、臨戸訪問や収納部門との連携強化など、取組を進めていく。さらに、休日や夜間等でも支払える方法として、コンビニ納付の実現に向けて準備を進める。
- ・給食に係る食材料費の高騰が保護者の経済的負担とならないよう、給食費の値上げは行わず、市が物価高騰相当額を負担しているが、今後も引き続き値上がりの状況を注視しながら対応していく。

【執行残額について】

その他 34,867

- ・消耗品費 1,693
- ・備品修繕料 527
- ・賄材料費 25,729
- ・手数料 738
- ・給食業務委託料 4,089
- ・会計年度任用職員報酬ほか 2,091

(単位：千円)

決算書 (P386～P389)	10款6項6目 学校給食管理費	所管課等	教育総務課
事業名	学校給食センター費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
25,376	23,508					23,508
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,868				1,868	

【目的】

栄養バランスのとれた安全でおいしい給食を提供するため、学校給食センター（共同調理場）の維持管理・運営を行う。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和5年度目標

衛生管理を徹底し、食中毒や食物アレルギー事故、異物混入を発生させない環境づくりのために必要な整備を行う。

○実施内容、これまでの経過等

- ・大島、牧、柿崎の3センターにおいて、小学校5校、中学校3校の児童・生徒に提供する学校給食の調理及び配送を行った。

<学校給食センターの状況>

センター名	開設年月	受配校	食数	炊飯方式
大島	昭和63年4月	大島小、大島中	73食	センター炊飯
牧	昭和62年4月	牧小、牧中	88食	
柿崎	令和3年4月	柿崎小、上下浜小、下黒川小、柿崎中	614食	

- ・安全でおいしい給食の提供と学校給食センターの円滑な運営のため、衛生管理及び作業管理上必要な備品の入替え、補充を行うほか、検便の実施、給食運搬委託やボイラー・小荷物専用昇降機等の保守点検委託等を行った。

【備品修繕】 スチームコンベクションオープン（大島）、食器消毒保管庫取手交換（柿崎）、炊飯釜テフロン再加工（牧）等

【営繕修繕】 調理室エアコン（大島）、配送車車庫外壁・屋根修繕（柿崎）、牛乳搬入口ドア取替（柿崎）、調理室給湯ボイラー修繕（牧）等

【備品入替】 スチームコンベクションオープン（牧）

決算書 (P 386～P 389)	10 款 6 項 6 目 学校給食管理費	所管課等	教育総務課
事業名	学校給食センター費		

○目標達成状況

- ・調理工程での確認を徹底し、給食調理における異物混入や食物アレルギー事故の防止に努めた。
- ・備品の修繕及び入替えについて、計画どおりに実施した。
- ・突発的な備品の不具合発生に対して、緊急度に応じた修繕及び入替対応を速やかに実施した。

【事業の成果】

- ・異物混入防止に努め、食物アレルギー事故を発生させることなく、安全で安心な給食を提供することができた。
- ・備品の計画的な修繕及び入替えにより、衛生環境の改善や作業の効率化が図られた。
- ・緊急度に応じた速やかな修繕及び入替対応により、安全・安心な給食を安定的に提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

施設設備の更新・修繕等を計画的に行うとともに、衛生管理基準等を踏まえ、引き続き適切に維持管理を行っていく。

【執行残額について】

その他	1,868
・現業会計年度任用職員報酬	1,024
・現業会計年度任用職員期末手当	181
・会計年度任用職員共済組合等負担金	26
・現業会計年度任用職員費用弁償	158
・手数料	247
・給食用備品購入費	150
・委託料ほか	82

(単位：千円)

決算書 (P390～P393)	11款4項1目 公立学校施設災害復旧費	所管課等	教育総務課
事業名	小学校災害復旧費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
53,600	16,715					16,715
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
35,996	889				889	

【目的】

1月1日に発生した令和6年能登半島地震により被災した小学校施設の迅速な復旧対応を行う。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和5年度目標

令和6年能登半島地震により被災した小学校施設の迅速な復旧対応を行う。

○実施内容、これまでの経過等

<経費内訳>

項目	執行額	内容
消耗品費	高志小他3校 38	掛け時計購入
修繕料	国府小 2,284	校舎廊下床等クラック補修、体育館ガラス補修他
	有田小 2,066	エアコン室外機補修、校舎バルコニー手摺壁クラック補修他
	里公小 1,624	体育館外壁クラック補修、給食室床クラック補修他
	保倉小 1,215	校舎エキスパンションジョイント補修他
	下黒川小 1,060	校舎階段クラック補修、普通教室時計補修
	明治小 951	校舎外部階段補修、校舎玄関タイル補修他
	高田西小 836	校舎エキスパンションジョイント補修
	北諏訪小 748	体育館外壁等クラック補修、校舎玄関タイル補修他
	稲田小 710	体育館屋根軽量鉄骨部分補修、給食小荷物専用昇降機補修
	宝田小 579	校舎ベランダクラック補修、体育館側溝クラック補修他
	大瀧小 485	体育館天井材部分補修、給水管漏水補修他

決算書 (P 390～P 393)	11 款 4 項 1 目 公立学校施設災害復 旧費	所管課等	教育総務課
事業名	小学校災害復旧費		

項目	執行額	内容	
修繕料	三郷小	437	教室壁クラック補修、校舎トイレ腰壁タイル補修他
	上下浜小	428	校舎更衣室壁クラック補修、体育館控室天井補修
	戸野目小	418	児童玄関タイル補修
	大潟町小	302	給食室床クラック補修他
	板倉小	294	校舎エキスパンションジョイント補修、揚水ポンプ補修
	南本町小	236	校舎外壁クラック補修、校舎雨漏り補修他
	吉川小	189	暖房機器補修、校舎トイレ腰壁タイル補修他
	上杉小	187	児童玄関タイル補修
	柿崎小	165	校舎消火栓給水管補修
	豊原小	133	トイレ壁タイル補修
	谷浜小	118	校舎教室等天井補修、給食室引戸補修
	牧小他 13 校	1, 212	ボイラー補修、電話設備補修他
	合計	16, 715	

○目標達成状況

令和 6 年能登半島地震により被災した小学校施設について、迅速な復旧対応を行った。

【事業の成果】

迅速な復旧対応のために必要な災害復旧工事を行い、児童の学習環境の改善を図った。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

災害復旧工事のうち、施工内容の検討や工事間の工程調整及び学校関係者との協議に日数を要したものの等については、令和 5 年度内の完了が困難なことから令和 6 年度に繰り越した。

【執行残額について】

その他 889
 ・消耗品費 62
 ・修繕料 827

(単位：千円)

決算書 (P392～P393)	11款4項1目 公立学校施設災害復旧費	所管課等	教育総務課
事業名	中学校災害復旧費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
25,400	8,328					8,328
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
17,072	0				0	

【目的】

1月1日に発生した令和6年能登半島地震により被災した中学校施設の迅速な復旧対応を行う。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和5年度目標

令和6年能登半島地震により被災した中学校施設の迅速な復旧対応を行う。

○実施内容、これまでの経過等

<経費内訳>

項目	執行額	内容
修繕料	城西中	1,089 校舎エキスパンションジョイント補修
	直江津東中	1,087 校舎エキスパンションジョイント補修他
	浦川原中	1,083 給食室床クラック補修、駐車場舗装クラック補修他
	頸城中	1,056 校舎エキスパンションジョイント補修他
	三和中	880 体育館天井材部分補修、校舎廊下床等クラック補修他
	大潟町中	708 給食室床等クラック補修、給食小荷物専用昇降機補修他
	柿崎中	603 駐車場舗装クラック補修他
	潮陵中	511 体育館吊下バスケットボールゴール補修他
	名立中	362 体育館吊下バスケットボールゴール補修他
	八千浦中	304 テニスコート防球ネット支柱補修、玄関ガラス補修

決算書 (P 392～P 393)	11 款 4 項 1 目 公立学校施設災害復 旧費	所管課等	教育総務課
事業名	中学校災害復旧費		

項目		執行額	内容
修繕料	清里中	220	エアコン室外機補修
	安塚中	211	校舎エキスパンションジョイント補修他
	牧中他 2 校	214	暖房配管漏水補修、給食室床補修
合計		8,328	

○目標達成状況

令和 6 年能登半島地震により被災した中学校施設について、迅速な復旧対応を行った。

【事業の成果】

迅速な復旧対応のために必要な災害復旧工事を行い、生徒の学習環境の改善を図った。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

災害復旧工事のうち、施工内容の検討や工事間の工程調整及び学校関係者との協議に日数を要したものの等については、令和 5 年度内の完了が困難なことから令和 6 年度に繰り越した。

(単位：千円)

決算書 (P392～P393)	11款4項2目 社会教育施設災害復旧費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設災害復旧費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
27,233	27,233			24,000		3,233
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	0				0	

【目的】

1月1日に発生した令和6年能登半島地震により被災したスポーツ施設の迅速な復旧対応を行う。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

施設名	金額	実施内容	
上越市総合体育館	19,712	アリーナ天井換気ダクト修繕	
清里スポーツセンター	3,025	アリーナ天井スピーカー修繕	
オールシーズンプール	1,518	外壁修繕	
三和体育館	1,287	アリーナ天井ボード修繕	
上越勤労身体障害者体育館	976	アリーナ壁修繕	
浦川原体育館	715	アリーナ天井吊り金具修繕	550
		アリーナ床修繕	165

【事業の成果】

修繕の際に一時的に施設を閉館したが、令和5年度末までに全施設の復旧を完了することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

災害発生時は、施設管理受託者等と連携し、被害状況を迅速に把握した上で、利用者への影響を考慮し、可能な限り早期の復旧に努める。

(単位：千円)

決算書 (P392～P393)	11款4項2目 社会教育施設災害復旧費	所管課等	社会教育課
事業名	図書館災害復旧費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
350	349					349
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1					1

【目的】

1月1日に発生した令和6年能登半島地震により被災した施設の迅速な復旧対応を行う。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・高田図書館防火設備(垂れ壁)設置工事 294
- ・高田図書館灯籠撤去修繕工事 55

【事業の成果】

今後、地震が発生しても同様に被災することがないように対応できた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

高田図書館は平成6年に開館して30年が経過し、建物や設備の老朽化が進んでおり、災害の状況によっては更なる被害の発生が考えられることから、適宜施設の点検を行い、優先順位を定めて修繕を実施していく。

【執行残額について】

- その他 1
- ・修繕料

(単位：千円)

決算書 (P392～P393)	11 款 4 項 3 目 史跡等災害復旧費	所管課等	文化行政課
事業名	高田城三重櫓災害復旧費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,000	884					884
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	116					116

【目的】

1月1日に発生した令和6年能登半島地震により被災した施設の迅速な復旧対応を行う。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・築地塀クラック補修 北面3箇所、南面16箇所

【事業の成果】

被災した築地塀の復旧工事を迅速に実施したことにより、観桜会前に復旧を完了することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

今後も強い地震等の自然災害が発生した場合は、安全性を確保するため、速やかに施設の点検を行い、被災箇所の迅速な復旧対応に努めていく。

【執行残額について】

その他 116

- ・修繕料

(単位：千円)

決算書 (P394～P395)	11款5項1目 その他公共施設等災害復旧費	所管課等	教育総務課
事業名	教育プラザ災害復旧費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
350	330					330
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	20					20

【目的】

1月1日に発生した令和6年能登半島地震により被災した施設の迅速な復旧対応を行う。

令和5年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・教育プラザ研修棟女子トイレタイル修繕 330

【事業の成果】

令和6年能登半島地震により被災した施設について、迅速な復旧対応を行った。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

今後も強い地震等の自然災害が発生した場合は、安全性を確保するため、速やかに施設の点検を行い、被災箇所の迅速な復旧対応に努めていく。

【執行残額について】

その他 20

- ・修繕料